

# 令和3年度 第12回春日区地域協議会 次 第

日時：令和3年12月16日(木) 午後6時30分から

会場：上越市市民プラザ 第2会議室

全体会1時間10分 + 分科会1時間

## 1 開 会

【2分】

## 2 あいさつ

【3分】

## 3 議 題

### (1) 自主的審議事項

- |   |                               |            |
|---|-------------------------------|------------|
| { | ・ 春日山城跡の観光振興策について             | (観光分科会)    |
|   | ・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について      | (安全・安心分科会) |
|   | ・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について | (福祉分科会)    |

① (情報提供) 春日区の人口・世帯数の動向について 【40分】

② 各分科会における審議の状況について 【20分】

### (2) その他

## 4 そ の 他

### (1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 令和4年 1月 日( ) 午後6時30分から
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 (自主的審議事項) 各分科会における検討状況について  
※ 閉会后、分科会を開催

### (2) その他

## 5 閉 会

(閉会后)

### ■ 分科会 ■

【60分】

#### (1) 審議

- ① 審議の背景 … 背景を検討。必要に応じ見直す。
- ② 審議の方向(目標) … 方向(目標)を検討。必要に応じ見直す。
- ③ 審議の進め方 … 取組内容を検討。目安として3か月後の状況を設定する。

\* 審議の時間は1時間(長くても1時間30分)を目途とする。

\* 上記にかかわらず、終了した分科会から随時解散する。

# 上越市春日区 人口・世帯数の動向

項目

スライド番号

- |           |                   |              |
|-----------|-------------------|--------------|
| <b>1</b>  | 総人口と年齢構成          | …… No. 1～9   |
| <b>2</b>  | 人口動態（出生・死亡、転入・転出） | …… No. 10～20 |
| <b>3</b>  | 世帯数と世帯構成          | …… No. 21～28 |
| <b>4</b>  | 人口の将来予測           | …… No. 29～32 |
| <b>参考</b> | 本日のまとめとして         | …… No. 33～34 |

## はじめに ～ 本紙データの注意点 ～

### ▶ 様々な統計データを活用しています。

各種統計によって集計方法や時期、定義などが異なるため、他の資料の数値と比較する場合などには、ご注意ください。以下は一例です。

人口に関するもの	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国勢調査(総務省統計局)</li><li>・ 住民基本台帳に基づく人口(各市町村)</li><li>・ 推計人口(or 人口推計)(総務省統計局、都道府県)</li></ul>
人口動態に関するもの	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人口動態調査(厚生労働省)</li><li>・ 新潟県人口移動報告(新潟県)</li><li>・ 住民基本台帳移動報告(総務省統計局)</li><li>・ 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査(総務省自治行政局)</li></ul>

#### 例 1) 最新値

- ・ 国勢調査 2015年、2020年  
(一部 2020年速報値を使用)
- ・ その他 2019～2020年

#### 例 2) 「年」の定義

- ・ 国勢調査 10月1日基準
- ・ 新潟県人口移動調査 前年10月～当年9月
- ・ 厚労省人口動態調査 暦年(1月～12月)
- ・ その他、年度(4～3月)の場合もあり

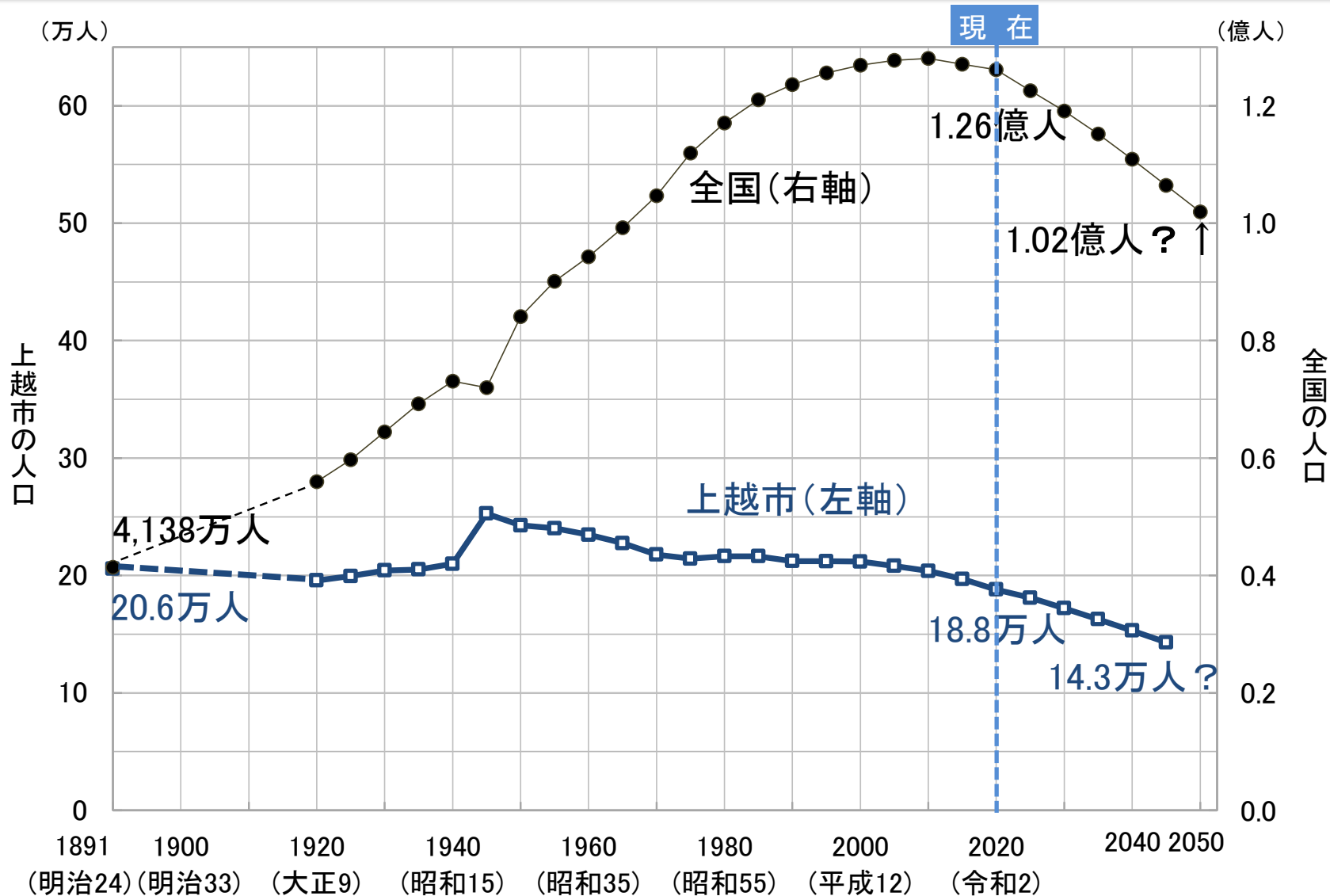
### ▶ 地域自治区別データは、町丁字(住所)単位のデータをもとに集計しています。

実際の地域自治区は行政区(町内会)単位で構成されているため、合併前上越市の一部の区では、実際の値と若干の違いがあります。

# 1 人口と年齢構成

---

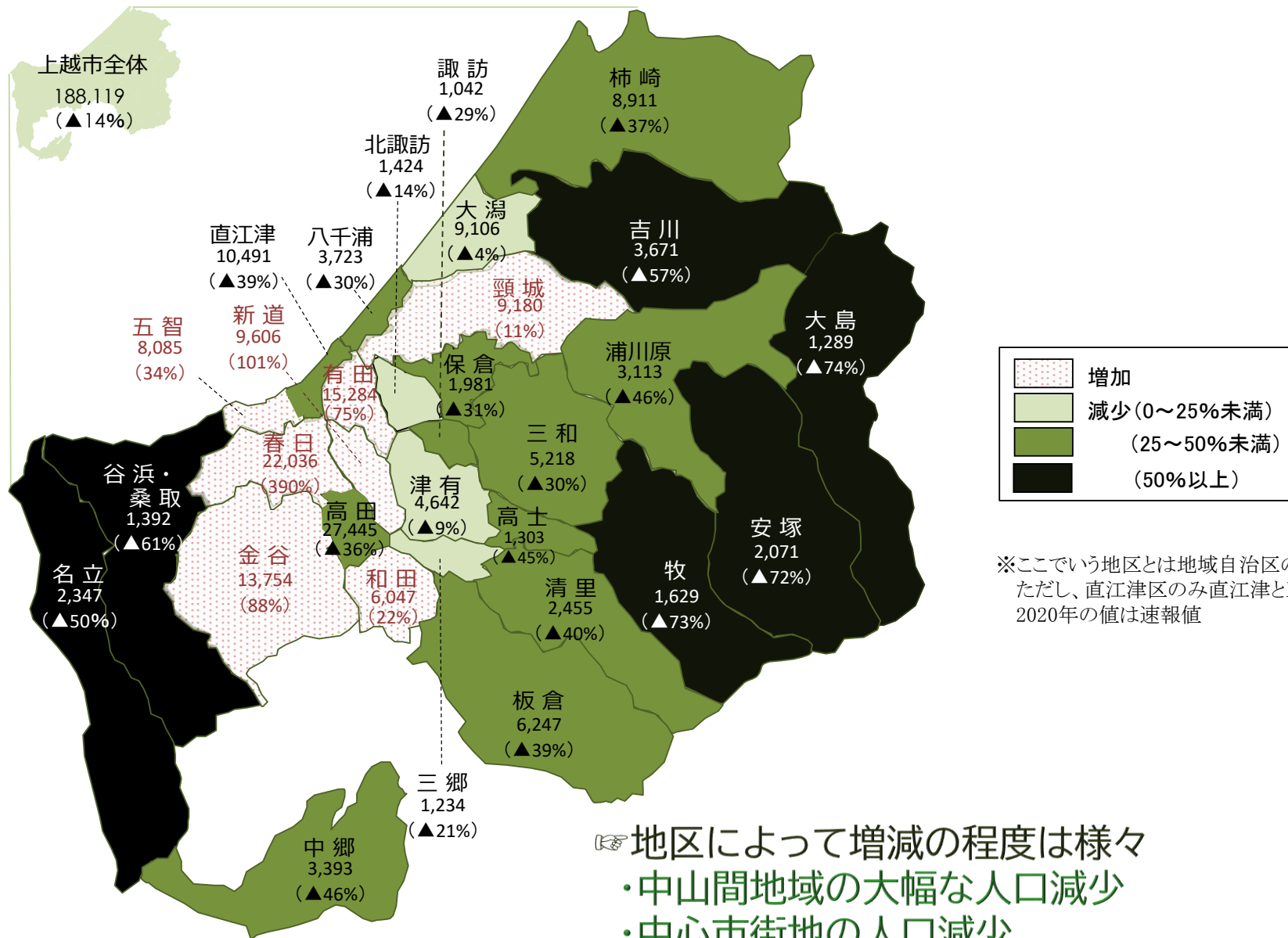
# 上越市・全国の総人口の推移 (1891 - 2045 推計)



☞ 全国の人口は過去120年間で3倍に増加。これから急速に人口減少。

☞ 上越市の人口は、戦後ゆるやかに減少。一気に減少が進む可能性あり。

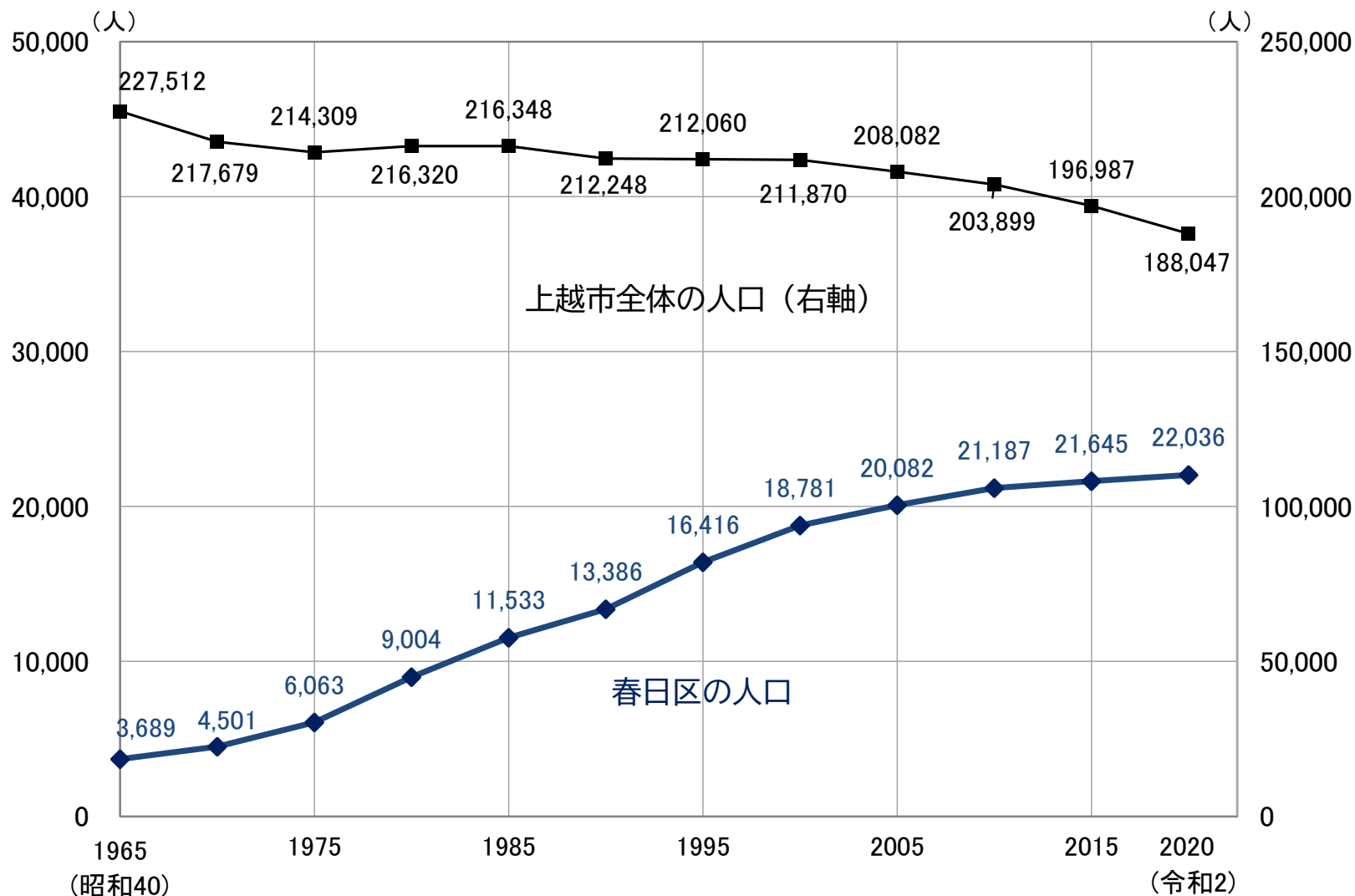
# 市内各区の50年間の人口増減（1970 - 2020）



※ここでいう地区とは地域自治区のことを指す。  
ただし、直江津区のみ直江津と五智に分離  
2020年の値は速報値

- ☞ 地区によって増減の程度は様々
- ・中山間地域の大幅な人口減少
  - ・中心市街地の人口減少
  - ・中心市街地に隣接する地区での大幅な人口増加

## 春日区の人口推移（1965 - 2020）

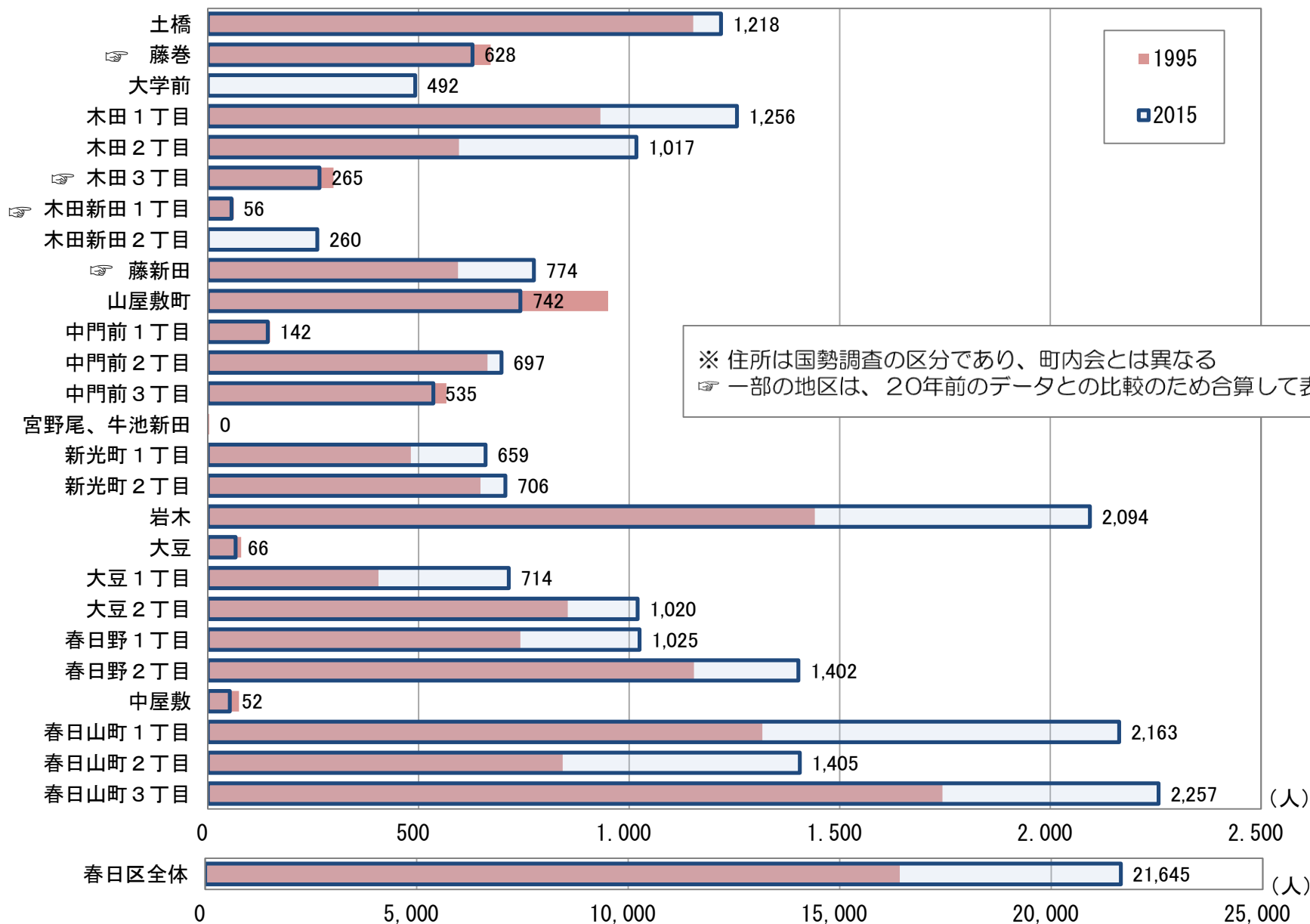


※春日区の2020年の値は速報値



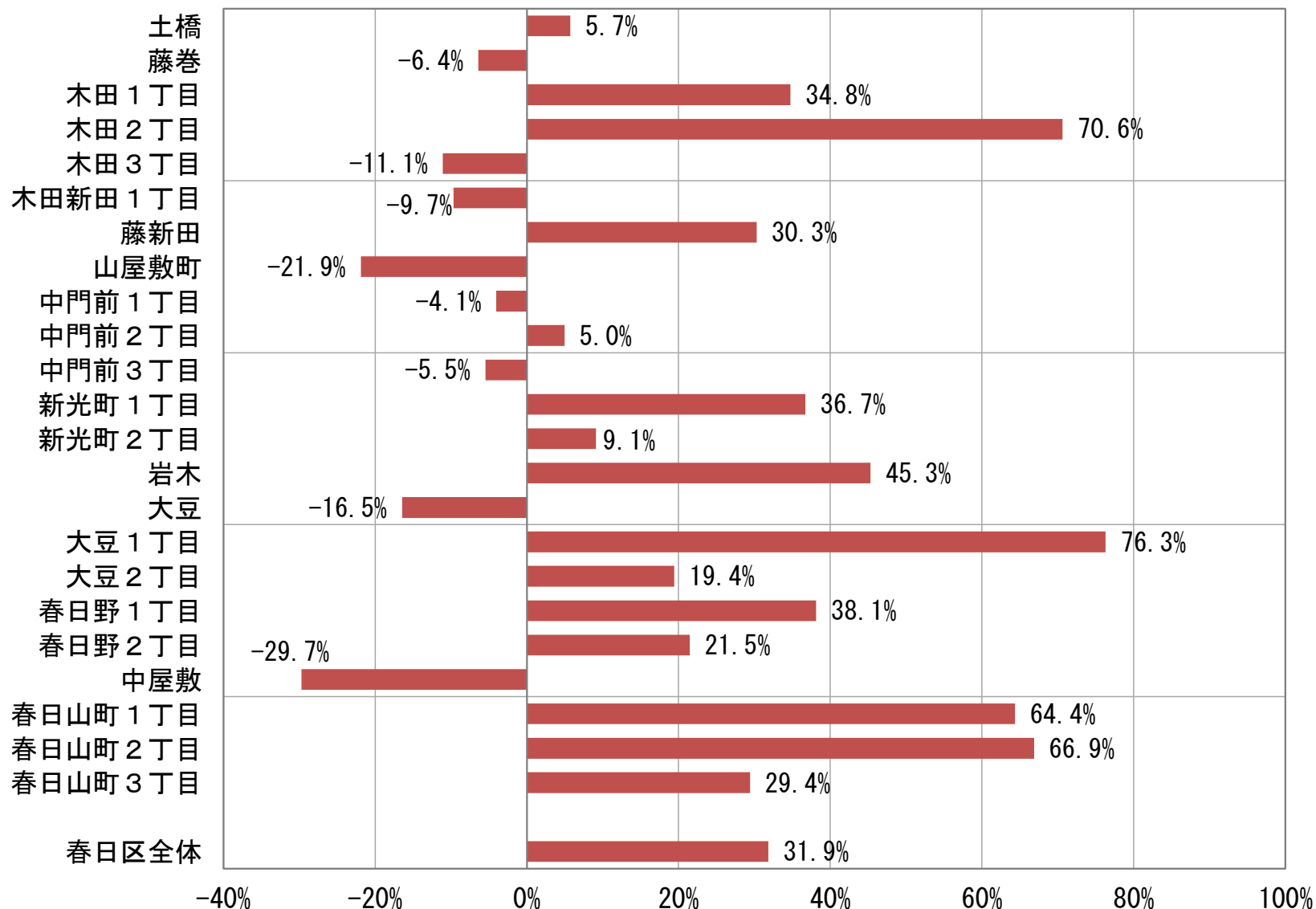
春日区の人口は増加を続けているが、近年は横ばい傾向。

## 春日区の住所別人口の比較（1995・2015）



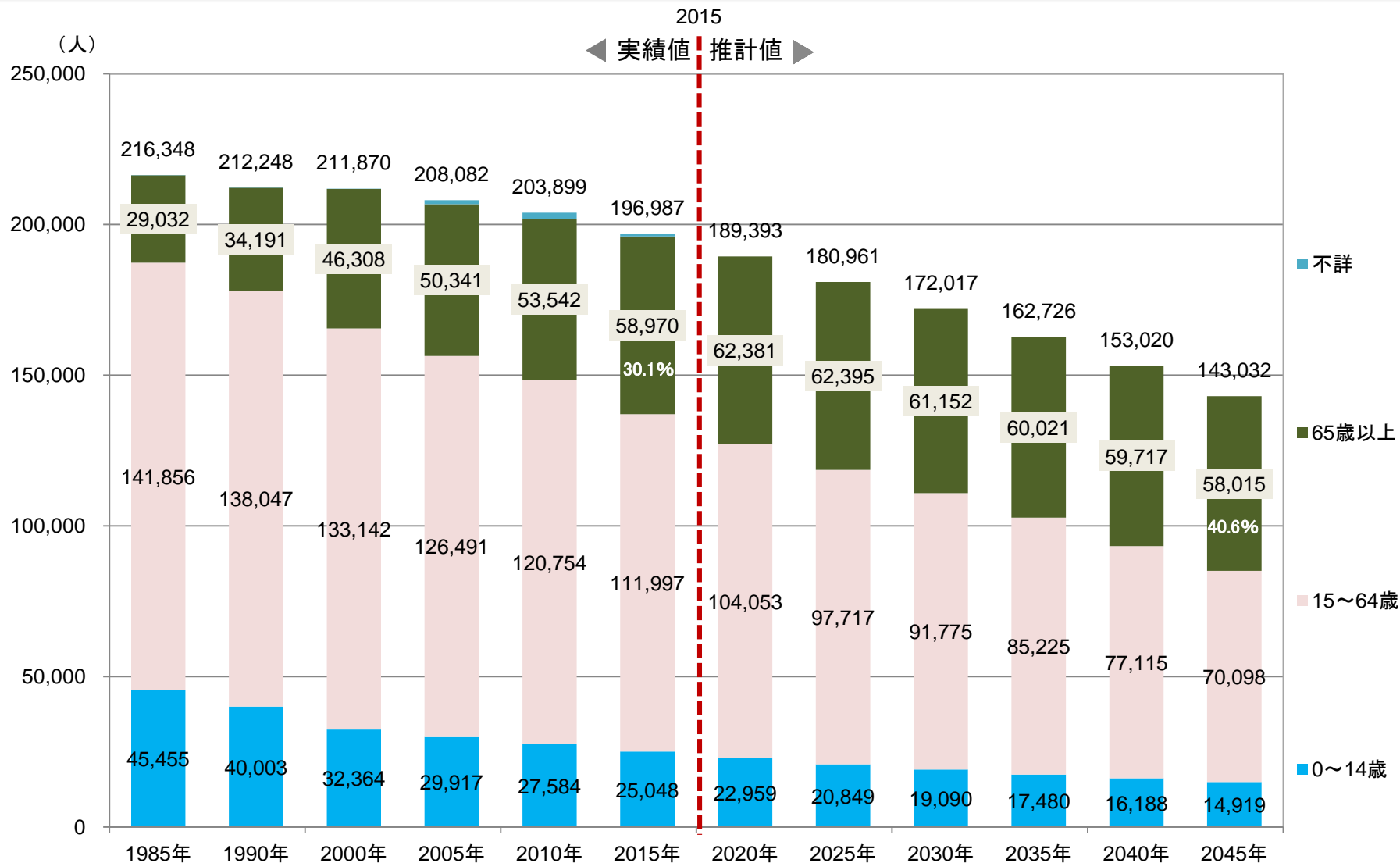


## 春日区の住所別人口増減率（1995・2015）



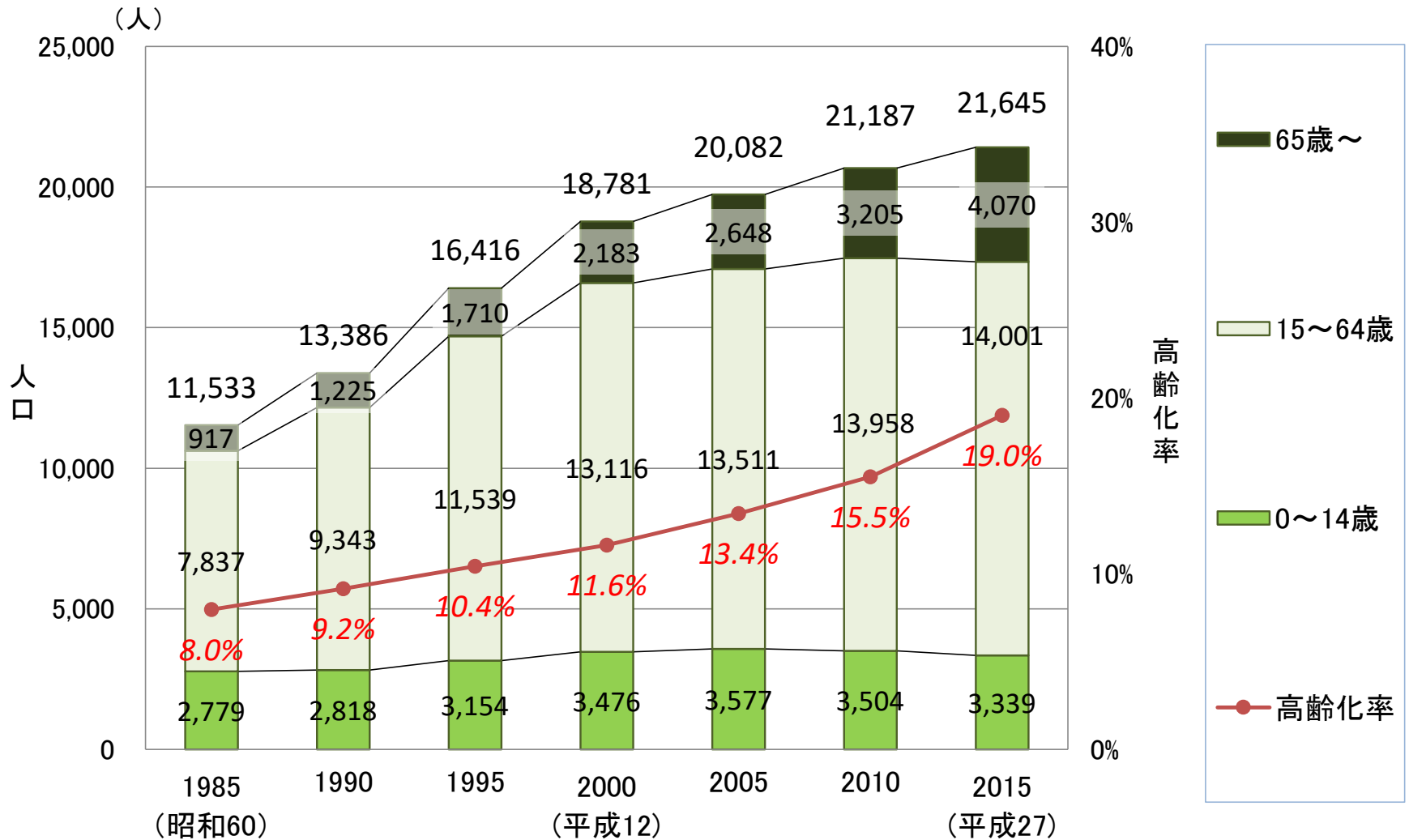
※大学前、木田新田2丁目は純増のため除外  
宮野尾、牛池新田は2015年時点で0人のため除外

# 上越市の年齢3区分人口（1985 - 2045 推計）



これまでもこれからも、少子化・高齢化が続く。  
高齢者数は2025年がピークの見込みだが、高齢化率はその後も上昇。

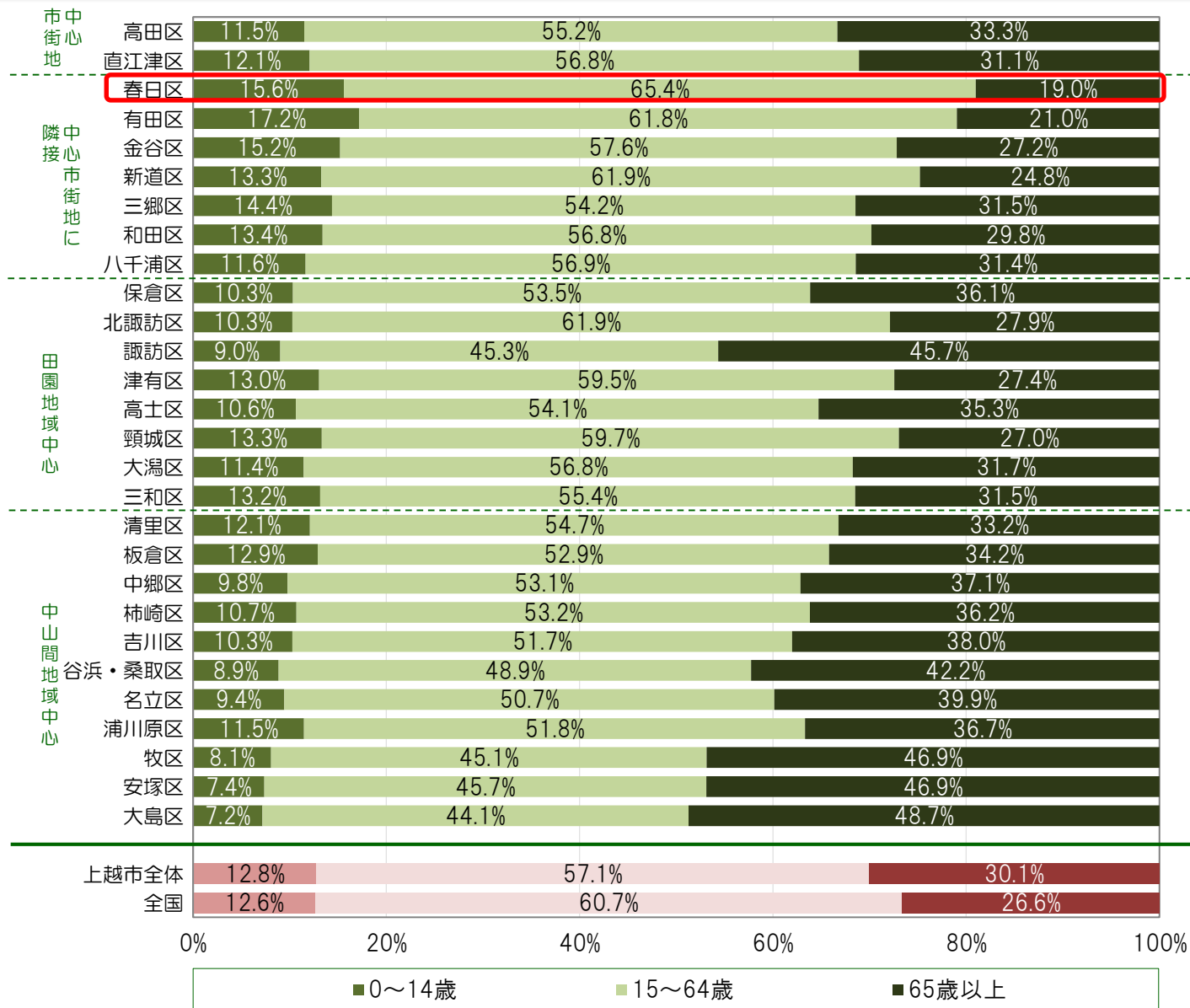
# 7 春日区の年齢3区分人口（1985 - 2015）



※ 合計値には不詳分を含む

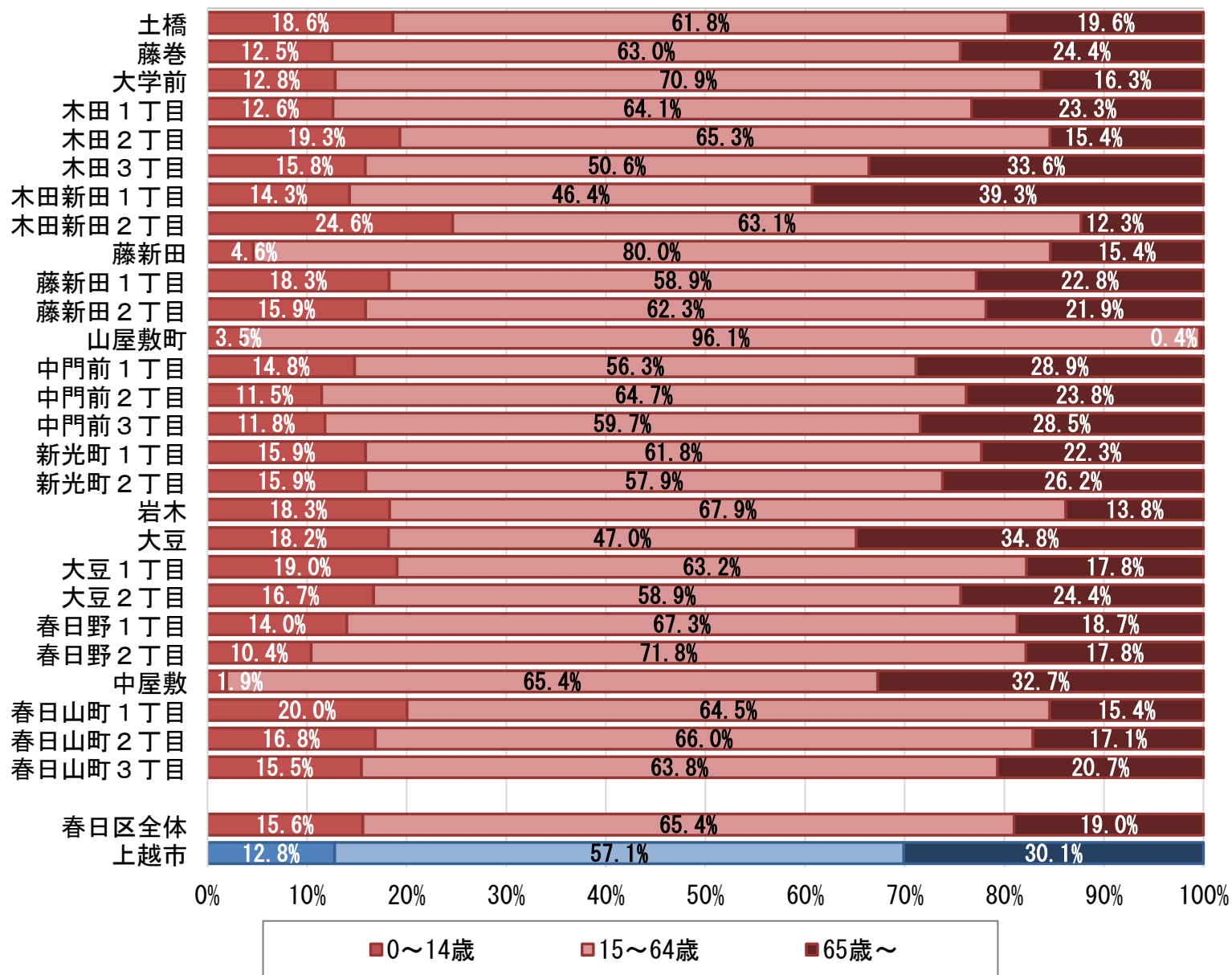
☞ 春日区の総人口は30年以上もの間、増加傾向。  
 高齢者数も増加を続けているが、高齢化率は上越市全体(30.1%)より大幅に低い。  
 子どもの数は、2005年をピークに減少傾向。

## 市内各区の年齢構成（2015）



人口減少の大きい中山間地域ほど、高齢化が進んでいる。

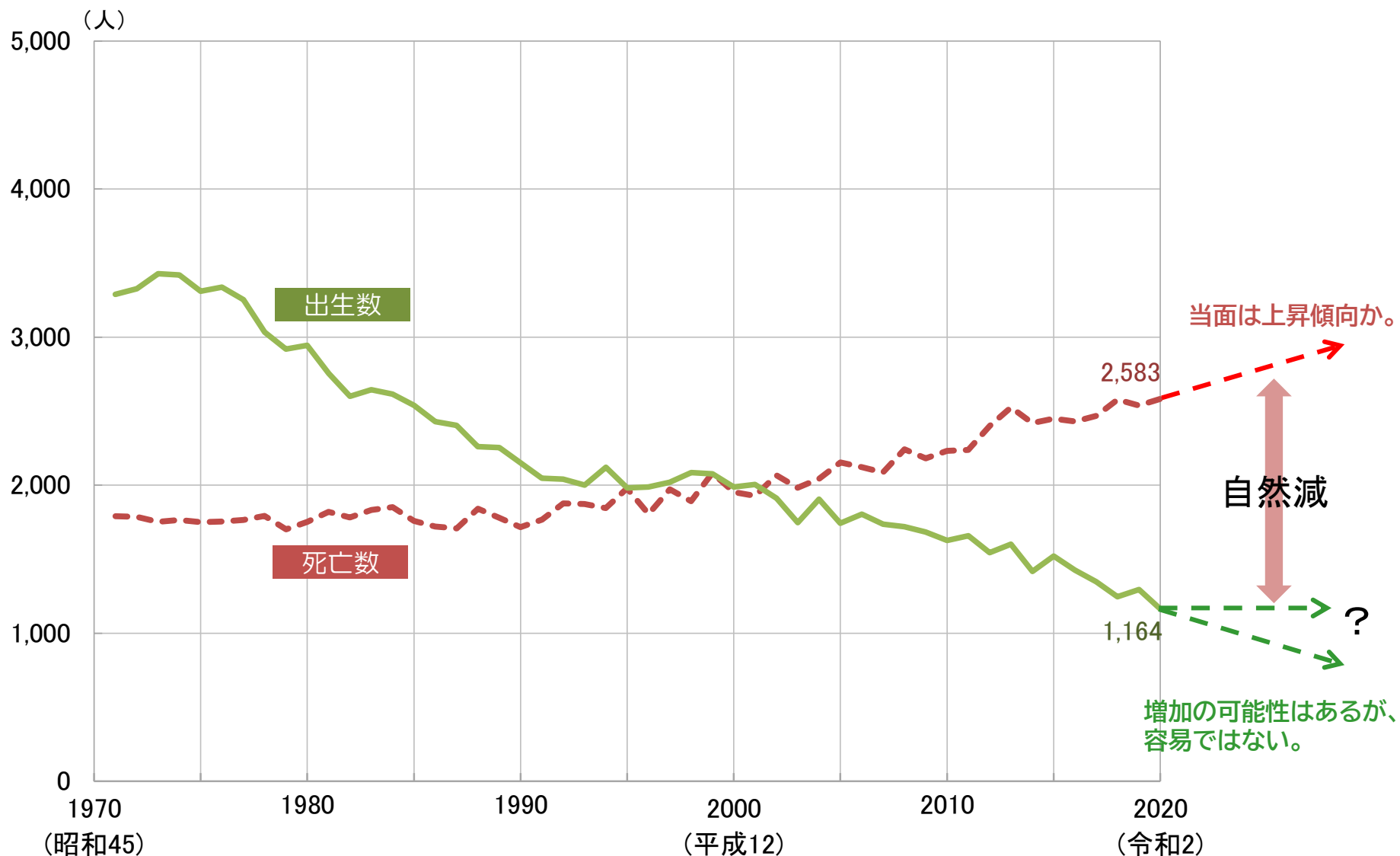
# 春日区住所別の年齢構成（2015）



※ 高齢者福祉施設や寮などが立地する住所地は、傾向が際立つ場合がある。

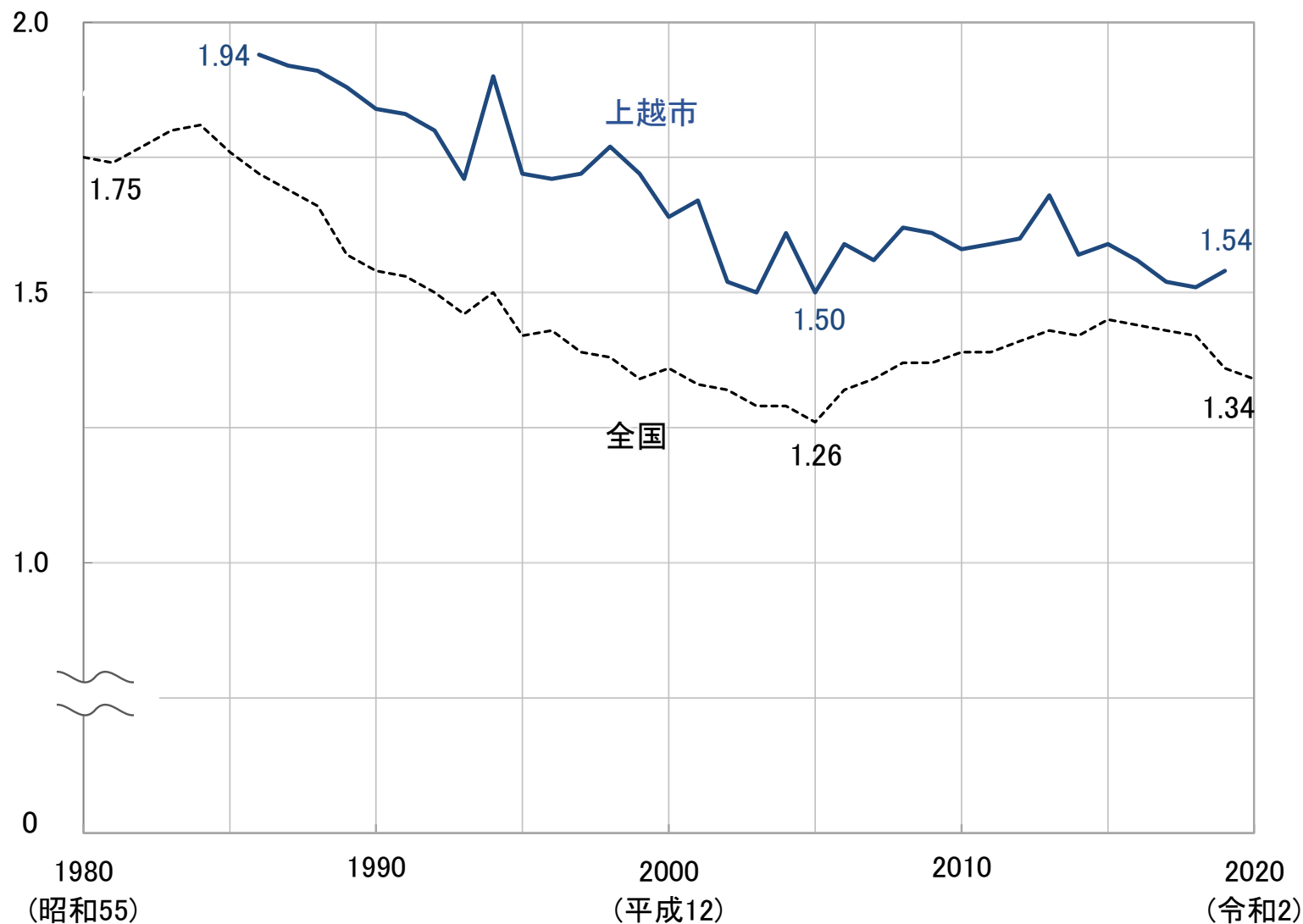
## 2 人口動態（出生・死亡、転入・転出）

---



☞ 出生数は約50年間で6割減、2002年からは継続して自然減。両者の差(自然減)は、拡大傾向にある。

## 合計特殊出生率の推移（1980－2020）



※上越市は2019年の値が最新

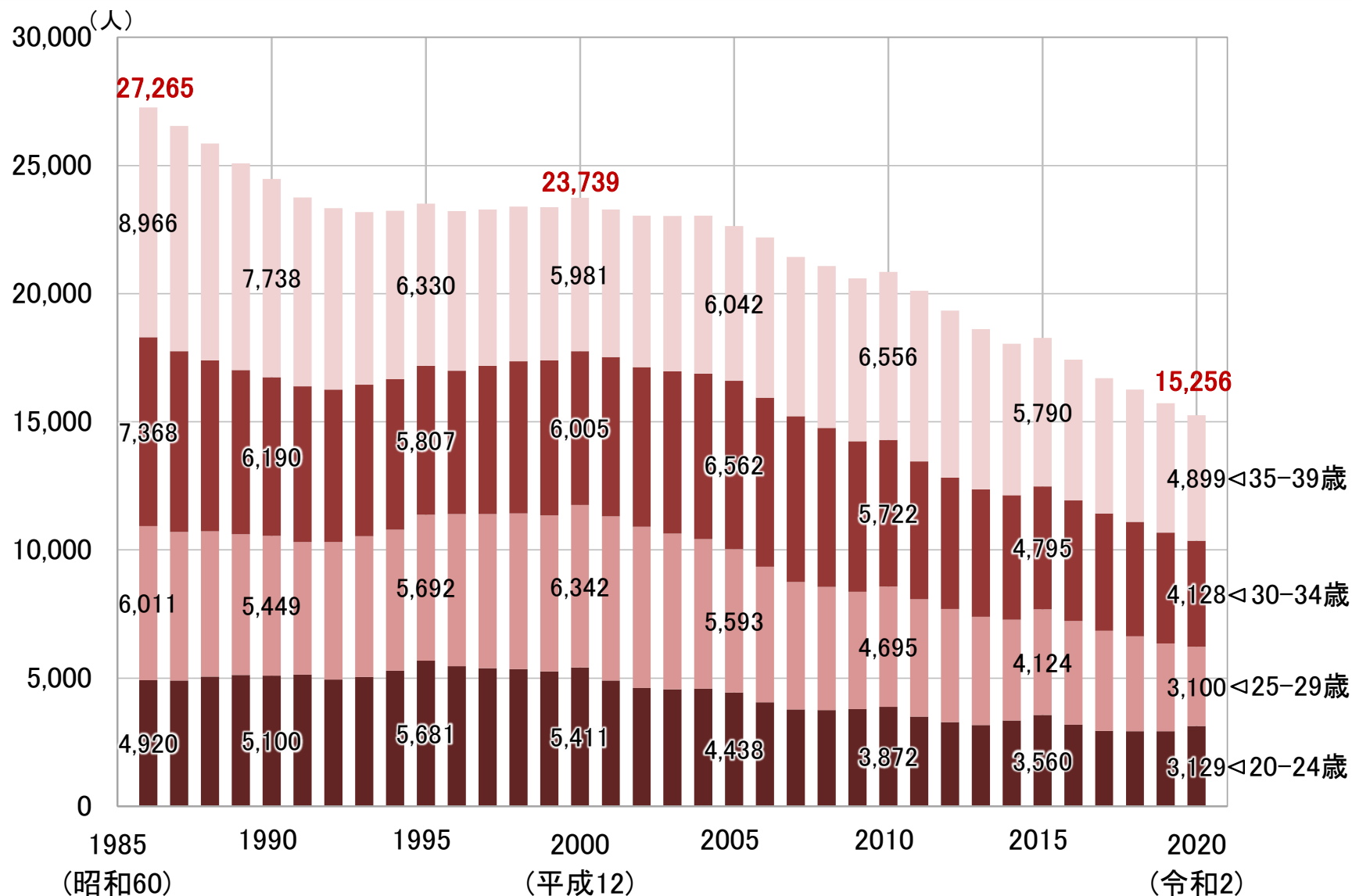


近年は、おおむね横ばいで推移。

全国平均よりは高いものの、人口の長期的安定に必要な2.07を下回る状況が続く。

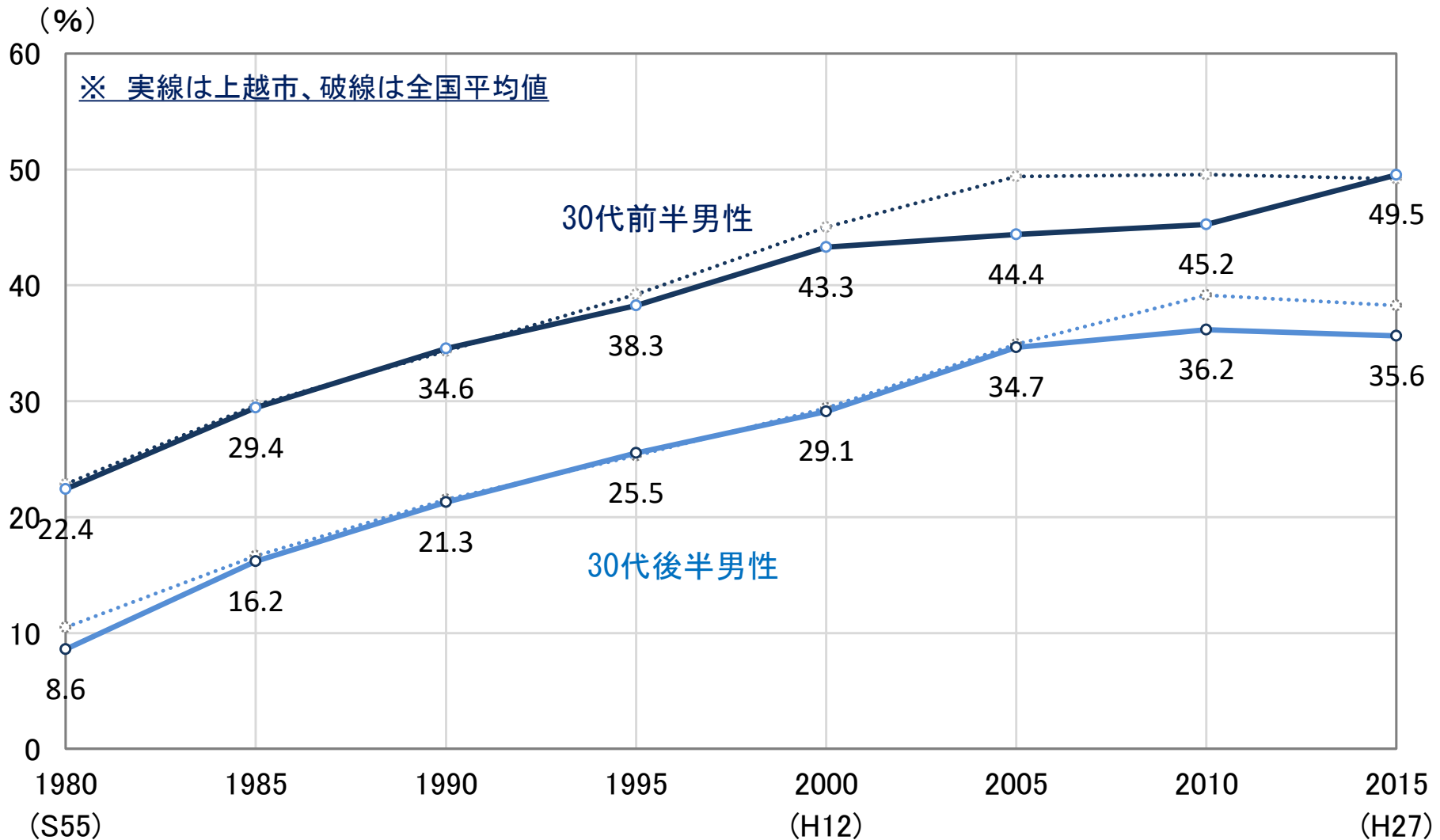


# 上越市の20・30代女性人口の推移（1986－2020）



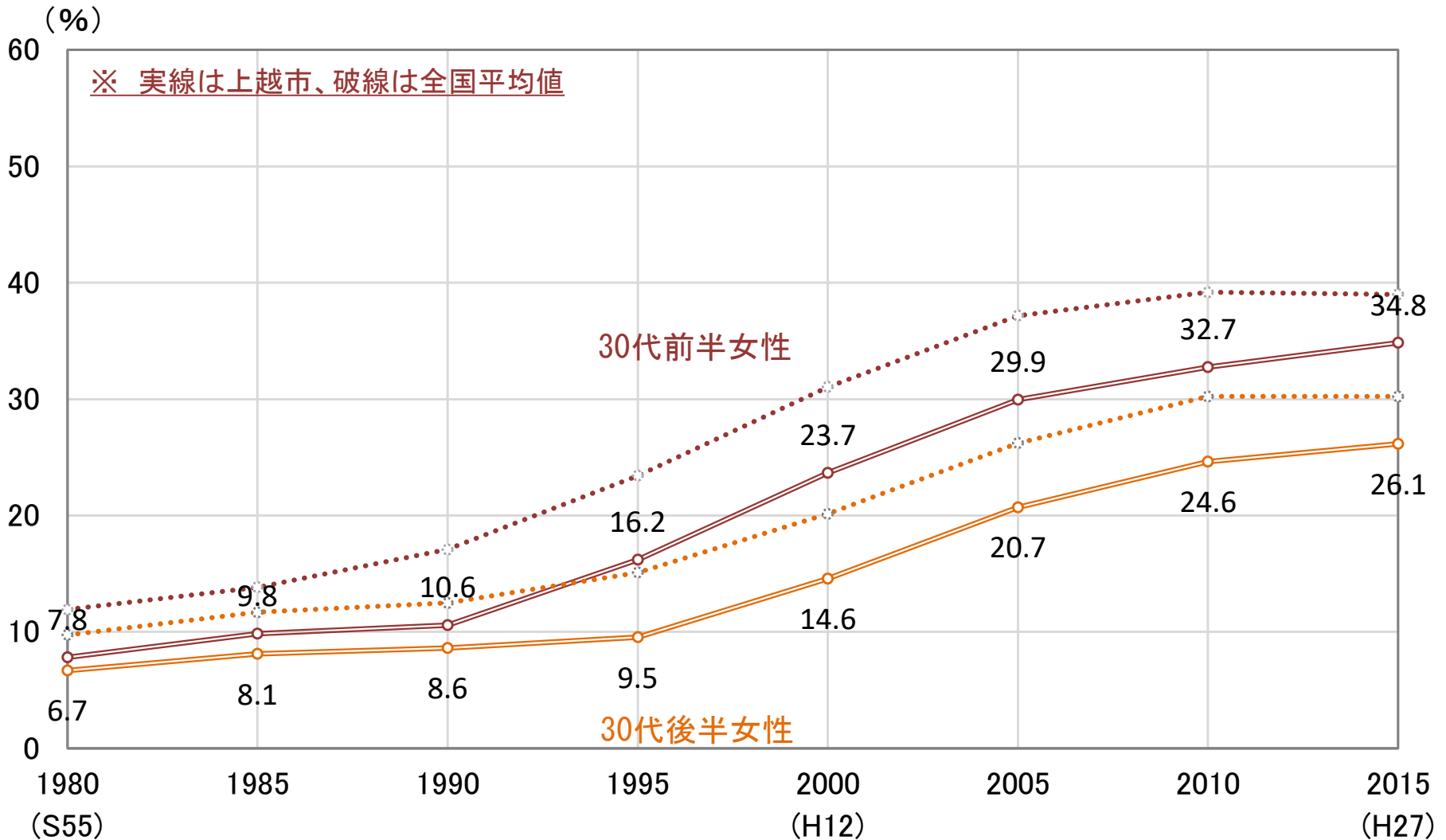
20・30代の女性人口は、過去30年間で3割以上の減。

要因は、1970年代から続く少子化に加え、市外に転出する若い女性が多いこと。



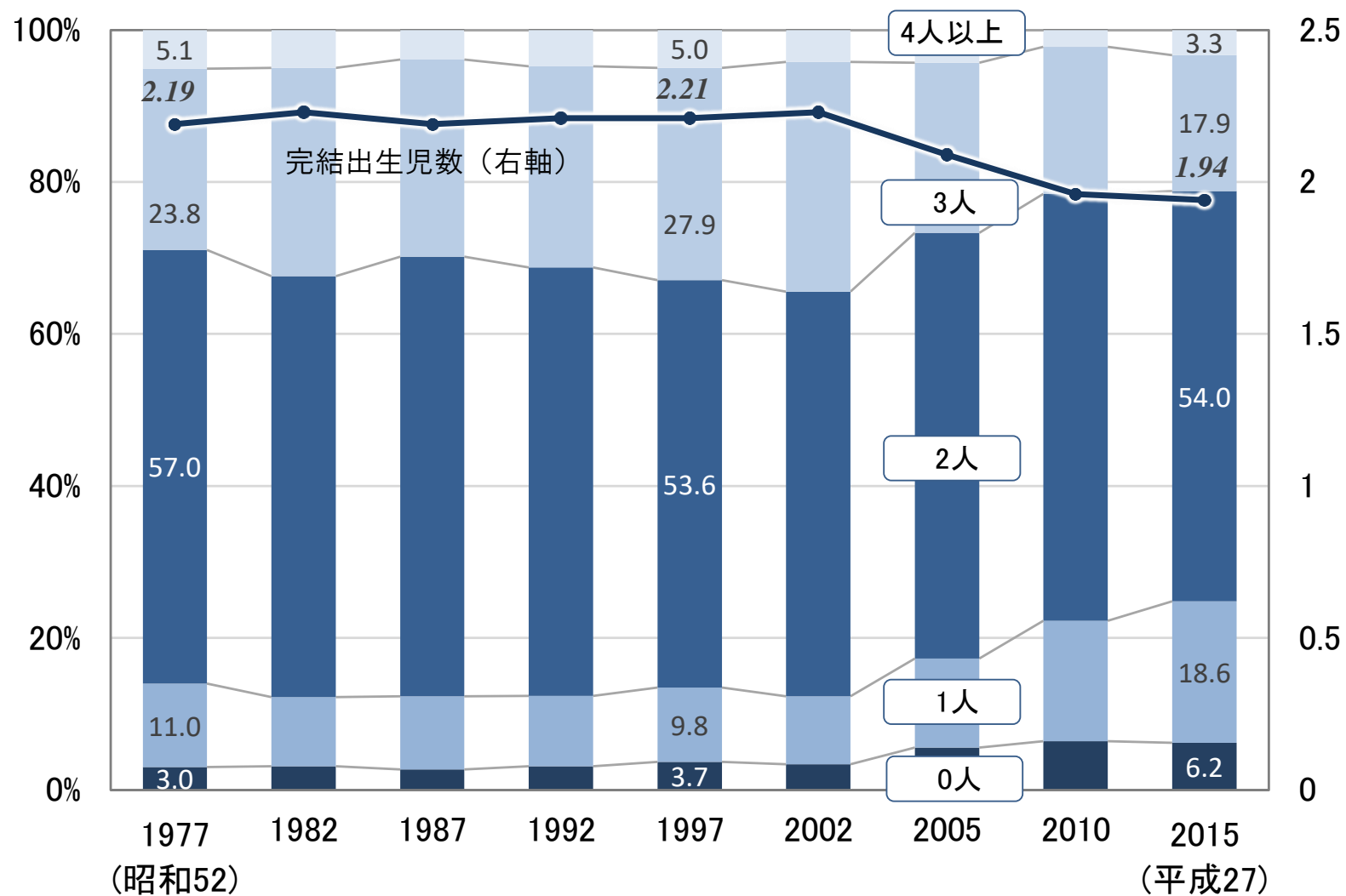
☞ 右肩上がりに増加傾向。  
横ばい傾向の兆しはあるが、独身者の高齢化は進行。

# 14 30代の独身割合の推移：女性（1980 - 2015）

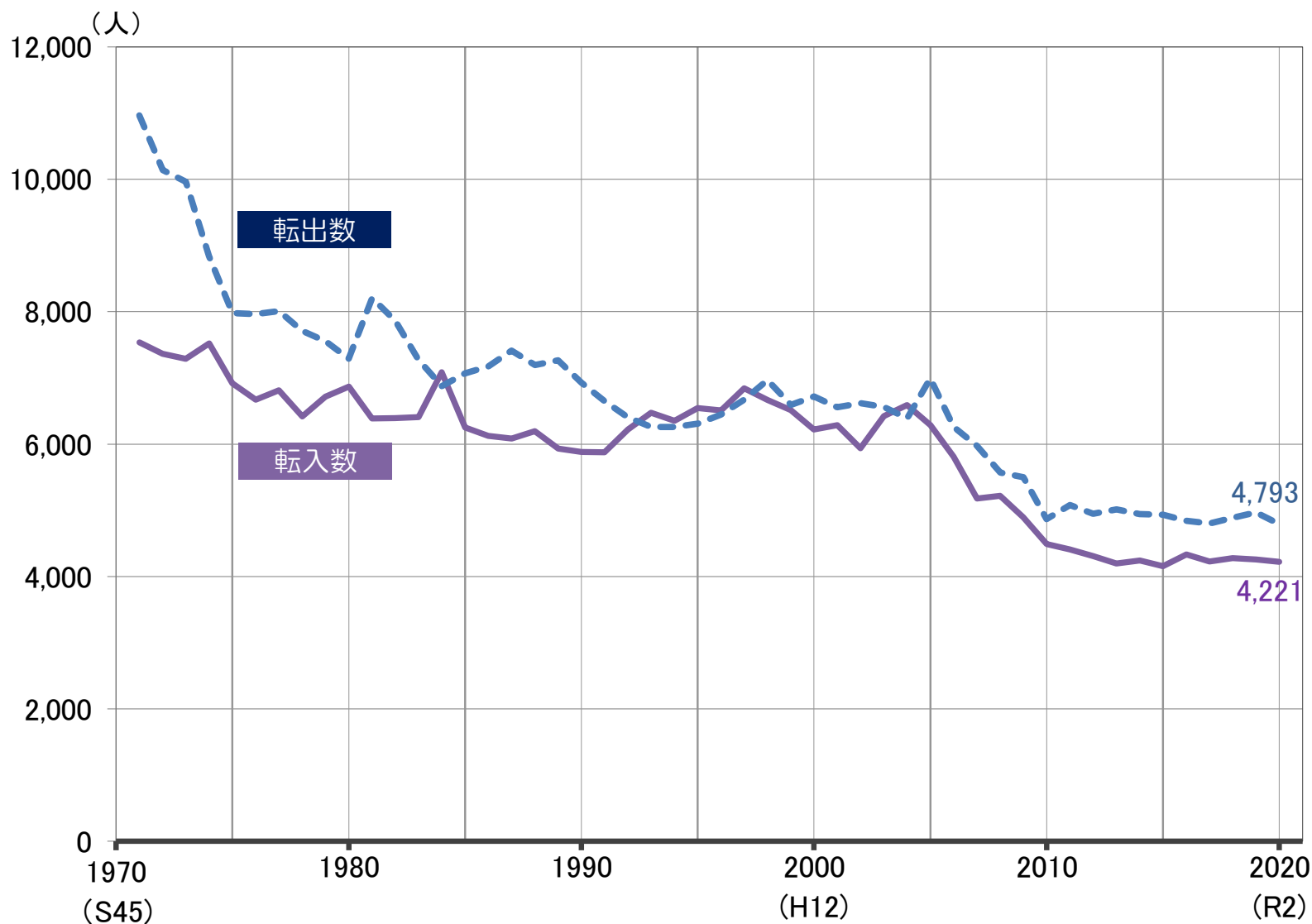


☞ 右肩上がりに増加傾向。全国平均に比べて若干低い。  
出生率低下との関係あり。加えて、独身者の高齢化も進行。

# 全国の夫婦の出産状況の変化（1977 - 2015）



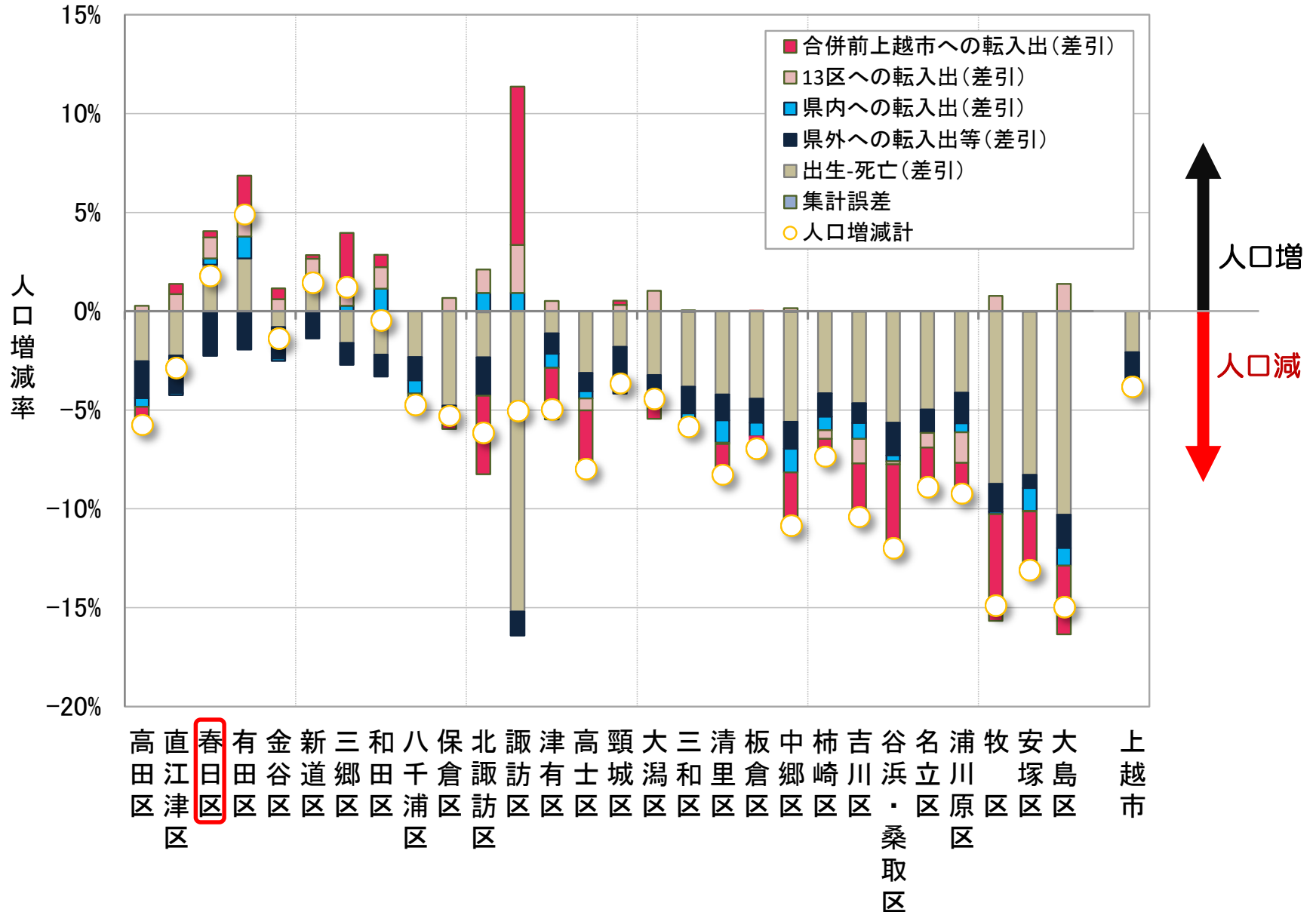
👉 「子どもの数が1人」の夫婦割合が増加。3人以上の割合は減少。



☞ 転入数が転出数を上回るのは、一時的な経済状況の変化によるもの。  
若年層の人口移動に大きく依存。

# 17 市内各区別の人口動態 (2010 - 2015)

(2010 - 2015)



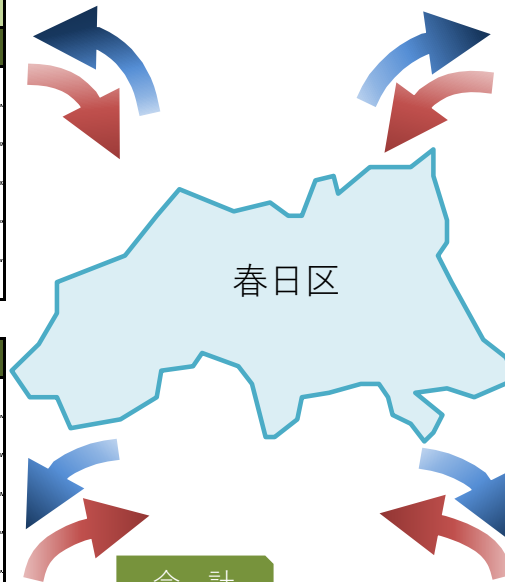
👉 ほとんどの区で自然減と県外への転出超過。市内移動の影響大。

# 春日区を中心とする人口の動き(2010-2015)

	転入	転出	差引
[県外]	1,903	2,364	▲ 461
北海道・東北	231	209	22
関東	792	1,123	▲ 331
長野県	211	200	11
中部(長野以外)	278	408	▲ 130
西日本	253	300	▲ 47
国外	138	124	14

[合併前上越]	4,409	4,344	65
高田	655	521	134
新道	177	155	22
金谷	277	255	22
諏訪	4	7	▲ 3
和田	60	76	▲ 16
津有	70	50	20
春日	2,114	2,114	0
三郷	20	25	▲ 5
高士	22	12	10
直江津	568	628	▲ 60
有田	330	408	▲ 78
八千浦	35	45	▲ 10
保倉	23	19	4
北諏訪	31	13	18
谷浜・桑取	23	16	7

※ 転入・転出の値には職権記載・消除分を含む。



合計	
転入	8,746
転出	8,860
集計誤差	▲ 2
社会動態	▲ 116

(転入・転出先不明分を含む)

参考	
出生	1,174
死亡	689
自然動態	485

	転入	転出	差引
[県内]	1,785	1,718	67
下越(新潟市等)	780	855	▲ 75
三条・燕圏	96	121	▲ 25
長岡圏	210	260	▲ 50
柏崎圏	109	105	4
魚沼・十日町圏	148	99	49
妙高市	205	143	62
糸魚川市	205	109	96
佐渡市	32	26	6

[旧13町村]	617	398	219
安塚	37	22	15
浦川原	26	19	7
大島	27	6	21
牧	13	5	8
柿崎	67	49	18
大潟	95	80	15
頸城	101	74	27
吉川	49	10	39
中郷	50	17	33
板倉	39	29	10
清里	20	16	4
三和	57	53	4
名立	36	18	18

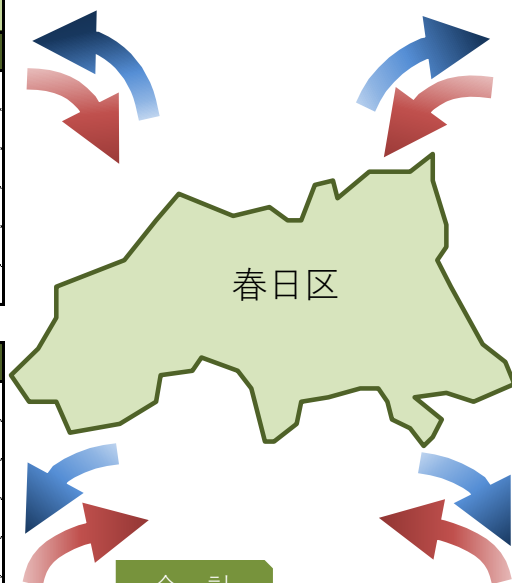
☞ 社会動態のマイナス(転出超過)を自然増(出生数)がカバー

## 春日区を中心とする人口の動き(2015-2020)

	転入	転出	差引
<b>[県外]</b>	1,954	2,326	▲ 372
北海道・東北	225	235	▲ 10
関東	768	1,090	▲ 322
長野県	170	185	▲ 15
中部(長野以外)	383	423	▲ 40
西日本	254	285	▲ 31
国外	154	108	▲ 46

<b>[合併前上越]</b>	4,329	4,214	115
高田	569	567	2
新道	196	180	16
金谷	289	339	▲ 50
諏訪	11	17	▲ 6
和田	65	105	▲ 40
津有	89	60	29
春日	2,008	2,008	0
三郷	23	8	15
高士	13	7	6
直江津	574	505	69
有田	390	340	50
八千浦	35	37	▲ 2
保倉	22	17	5
北諏訪	20	18	2
谷浜・桑取	25	6	19

※ 転入・転出の値には職権記載・消除分を含む。



合計	
転入	8,509
転出	8,455
集計誤差	0
社会動態	54

(転入・転出先不明分を含む)

参考	
出生	1,034
死亡	756
自然動態	278

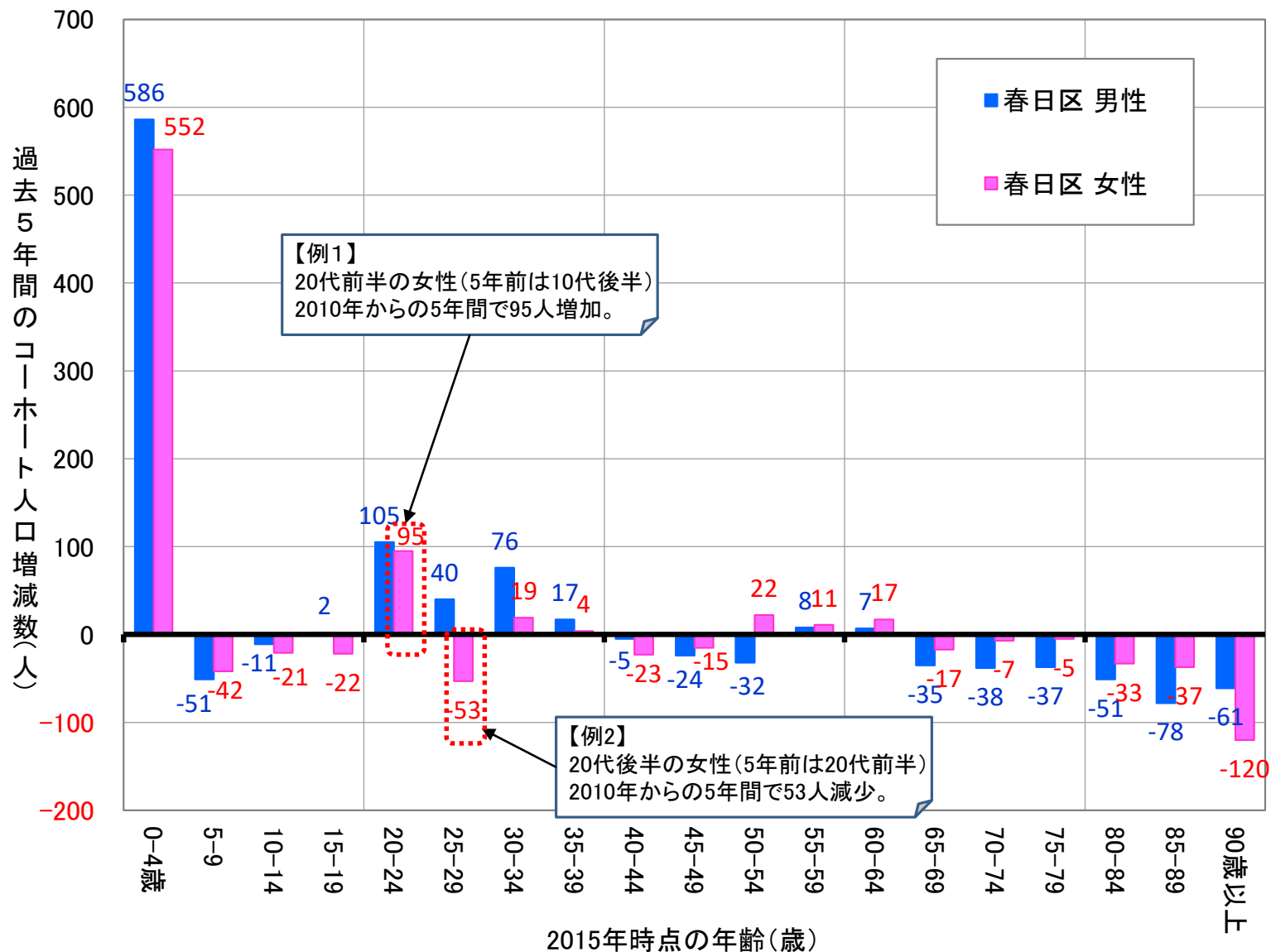
	転入	転出	差引
<b>[県内]</b>	1,667	1,509	158
下越(新潟市等)	653	754	▲ 101
三条・燕圏	62	71	▲ 9
長岡圏	232	256	▲ 24
柏崎圏	80	76	4
魚沼・十日町圏	154	94	60
妙高市	233	139	94
糸魚川市	230	79	151
佐渡市	23	40	▲ 17

<b>[旧13町村]</b>	543	358	185
安塚	27	15	12
浦川原	38	18	20
大島	21	5	16
牧	13	4	9
柿崎	52	33	19
大潟	83	57	26
頸城	89	77	12
吉川	27	12	15
中郷	28	13	15
板倉	44	33	11
清里	16	12	4
三和	70	57	13
名立	35	22	13

☞ 2010-2015年に比べると、特に高田からの転入が減少。金谷・和田への転出が増加。



## 春日区の年齢別人口増減率（2010 - 2015）

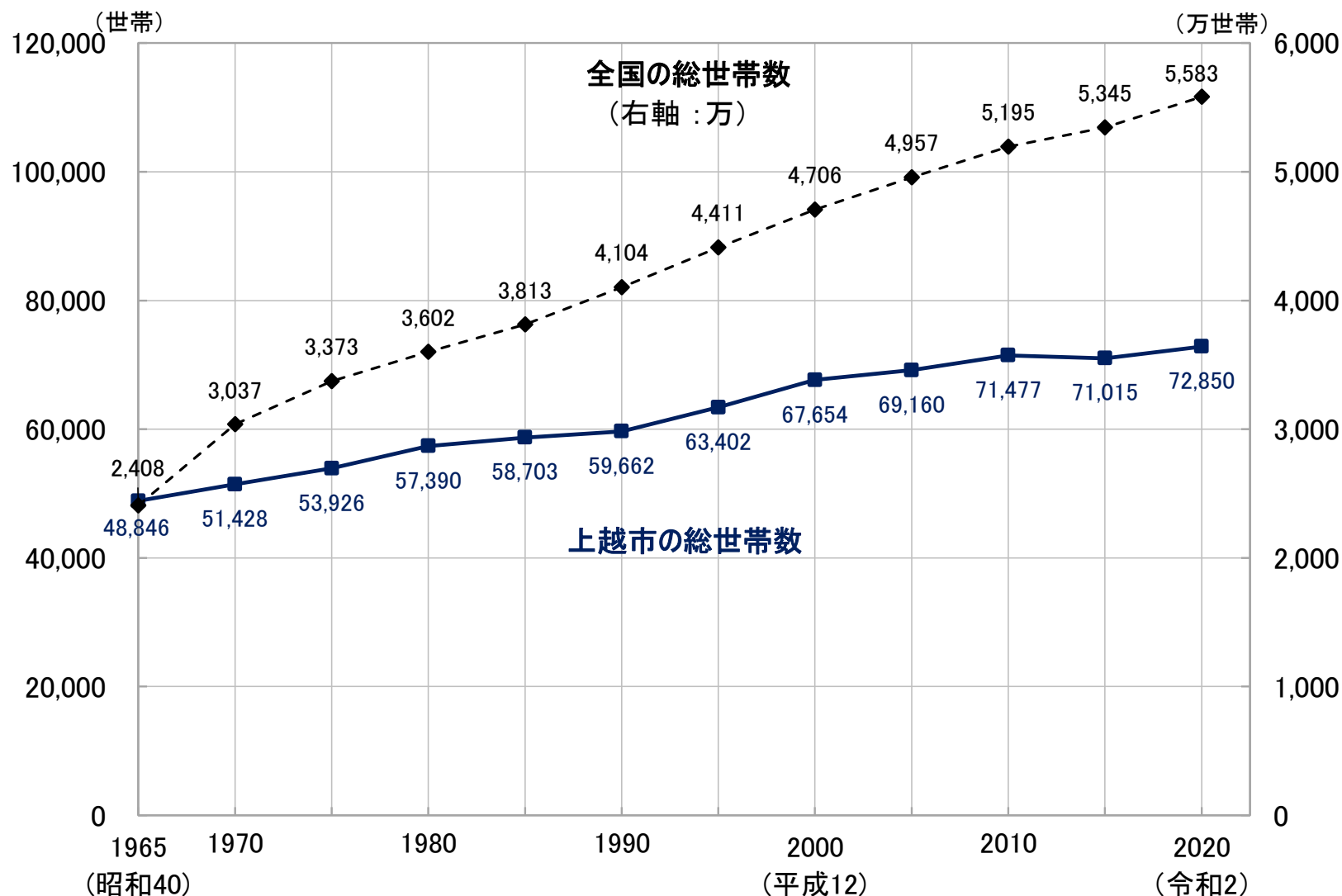


👉 20~24歳で転入超過。これは上越市全体とは異なる傾向。

## 3 世帯数と世帯構成

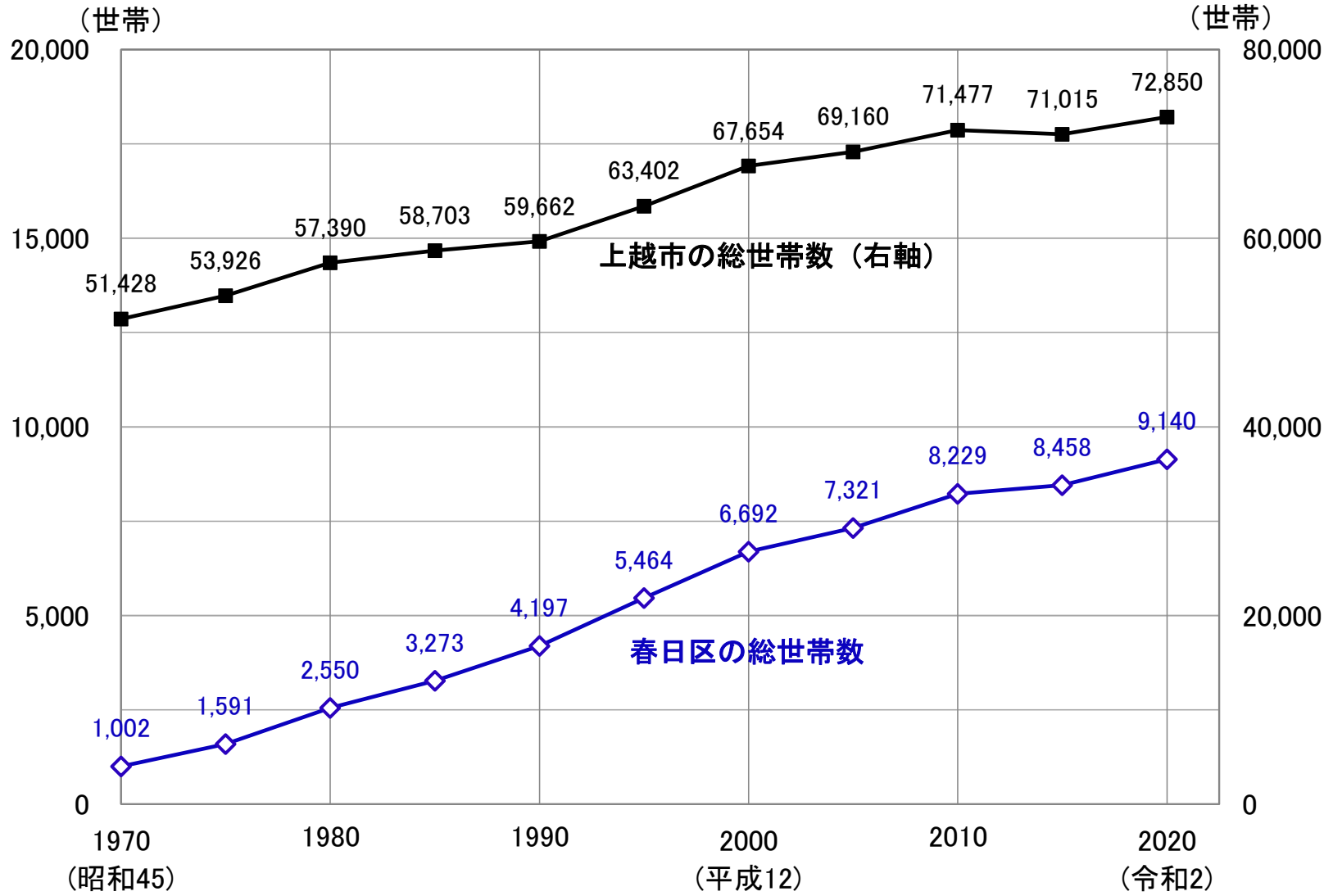
---

# 上越市の総世帯数（1965－2020）



👉 人口減少にあっても、世帯数は増加(要因は、核家族化や未婚化など)  
2015年に初めて減少に転じたが、2020年では再び増加。

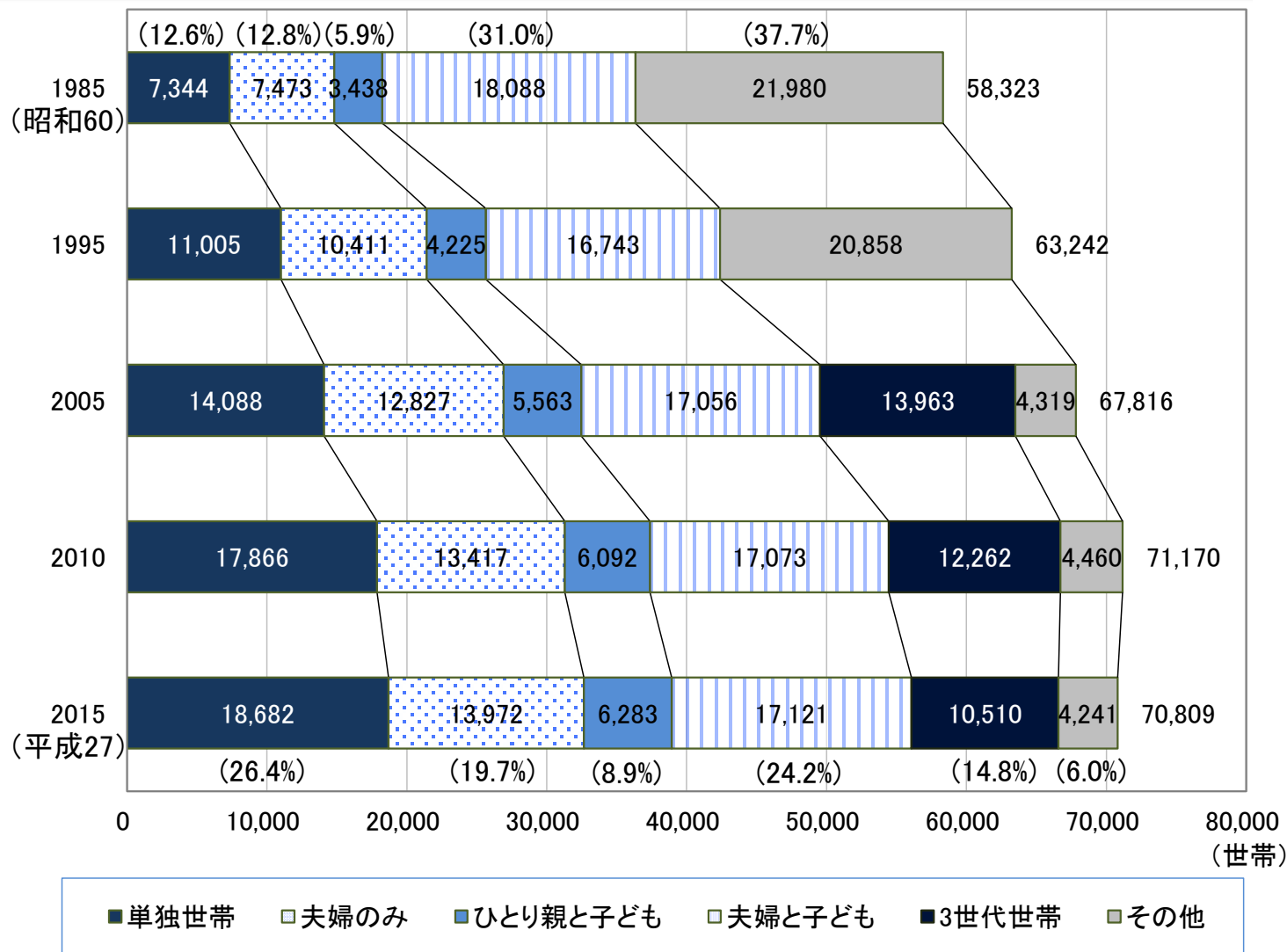
## 春日区の世帯数の推移（1970－2020）



※春日区の2020年の値は速報値

👉 上越市全体よりも増加傾向が強い。

## 上越市の家族累計別世帯数の推移（1965 - 2015）



※一般世帯数のみ（施設等の世帯は含まない）。  
1985年、1995年の「3世代世帯」は「その他」に含まれる。

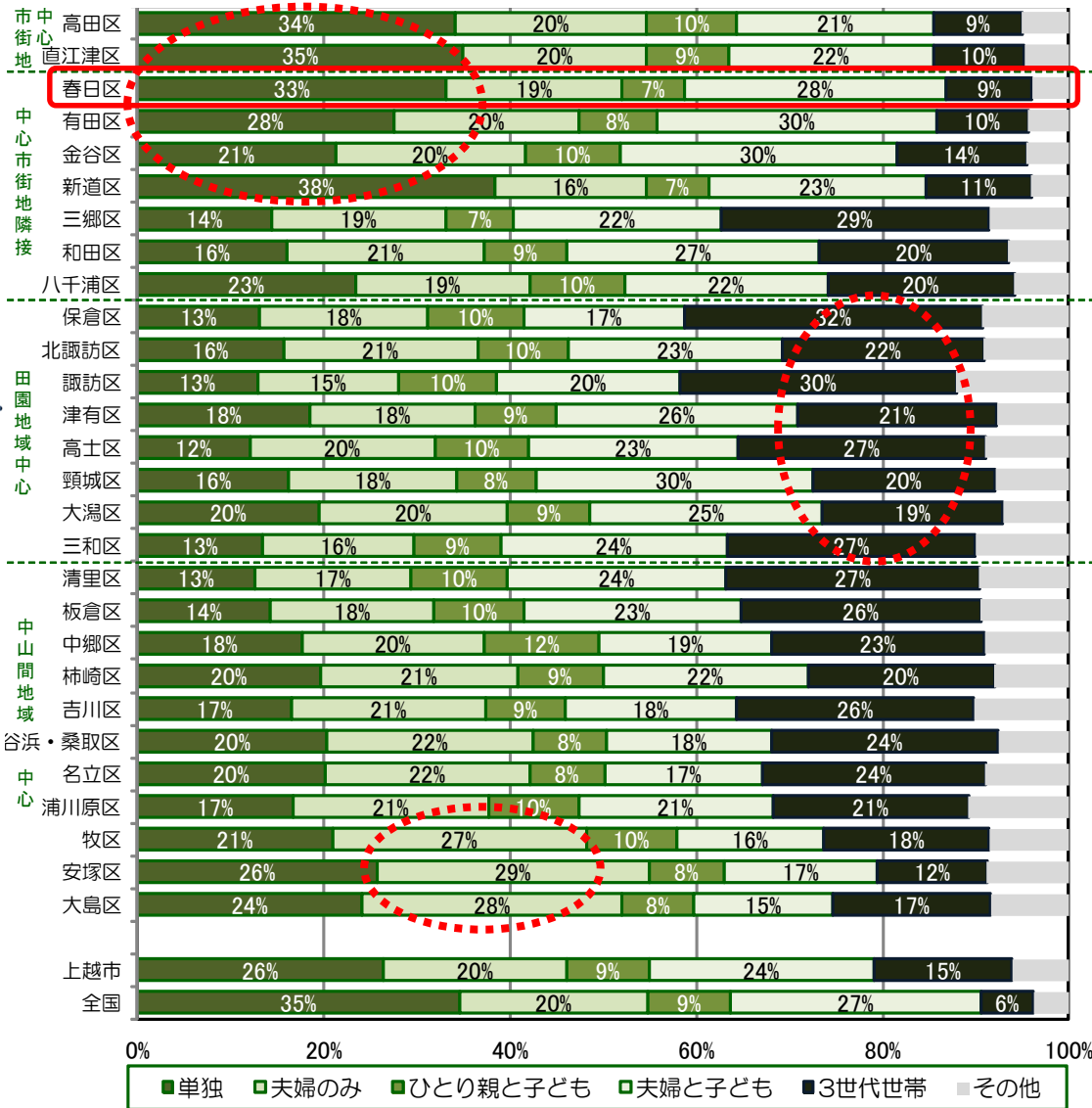
👉 1985年時点では、3世代世帯、夫婦と子ども世帯、その他がほぼ1/3ずつ。  
近年は、単身世帯が1/4を占め、今後も増加の見込み。

# 24 市内各区別の世帯構成（2015）

郊外と中心市街地に多い単身世帯

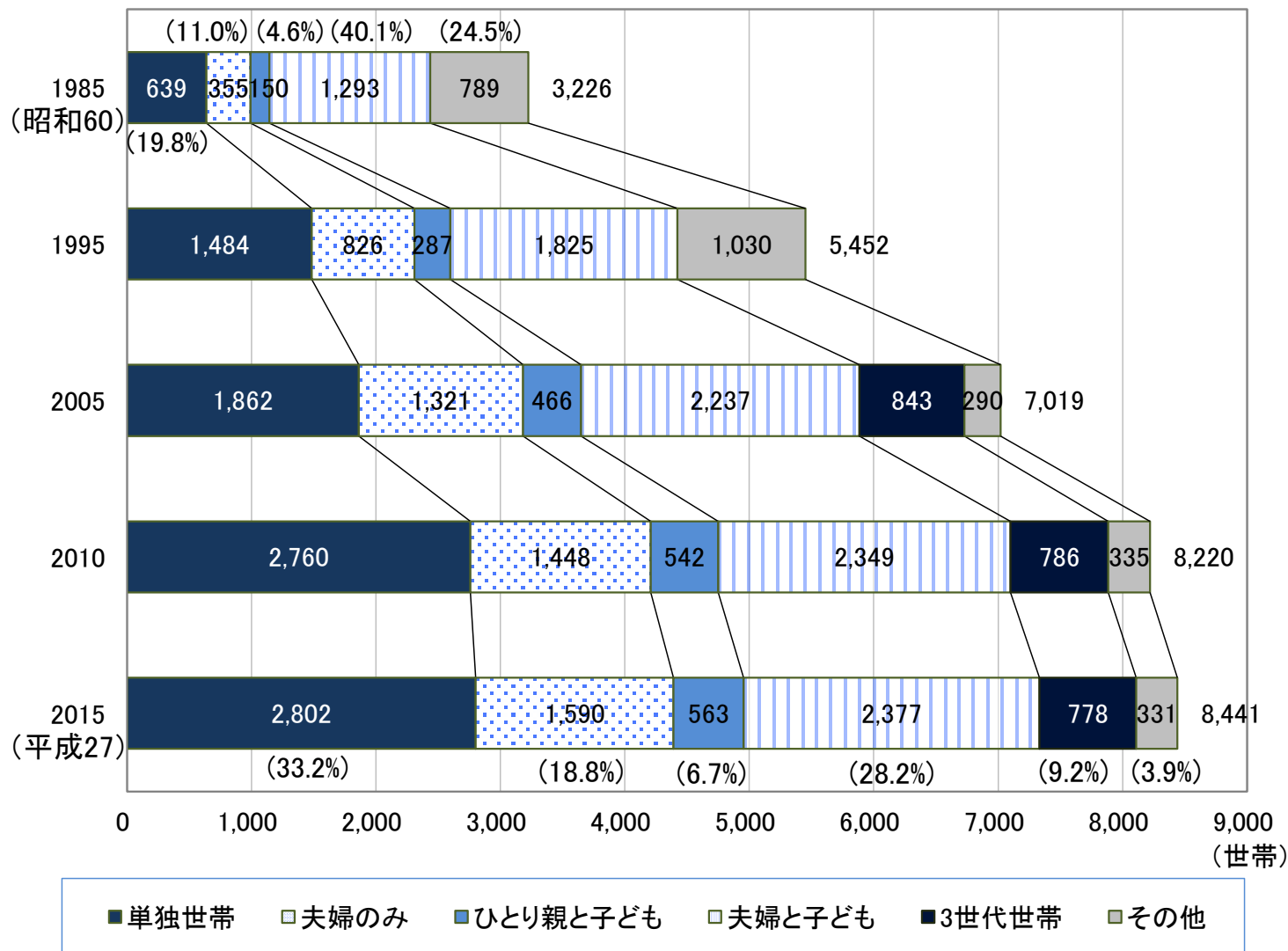
3世代世帯が多い

(特に高齢者の)夫婦のみ世帯が多い



2.35	20%	27%
2.37	22%	22%
2.49	28%	14%
2.62	31%	14%
2.81	30%	19%
2.42	24%	14%
3.31	30%	17%
3.03	30%	16%
2.83	25%	22%
3.31	24%	20%
3.06	23%	16%
3.42	28%	20%
3.01	28%	16%
3.21	25%	21%
3.12	30%	16%
2.92	25%	22%
3.29	30%	18%
3.31	29%	19%
3.24	28%	22%
2.96	21%	23%
2.91	22%	25%
3.11	24%	27%
2.94	18%	32%
2.97	20%	29%
3.05	24%	25%
2.70	17%	38%
2.49	13%	39%
2.62	16%	40%
<b>2.69</b>	<b>25%</b>	<b>21%</b>
2.33	23%	18%
1世帯当たりの人数	18歳未満が いる世帯	65歳以上の みの世帯

## 春日区の家族類型別世帯数の推移(1985 - 2015)



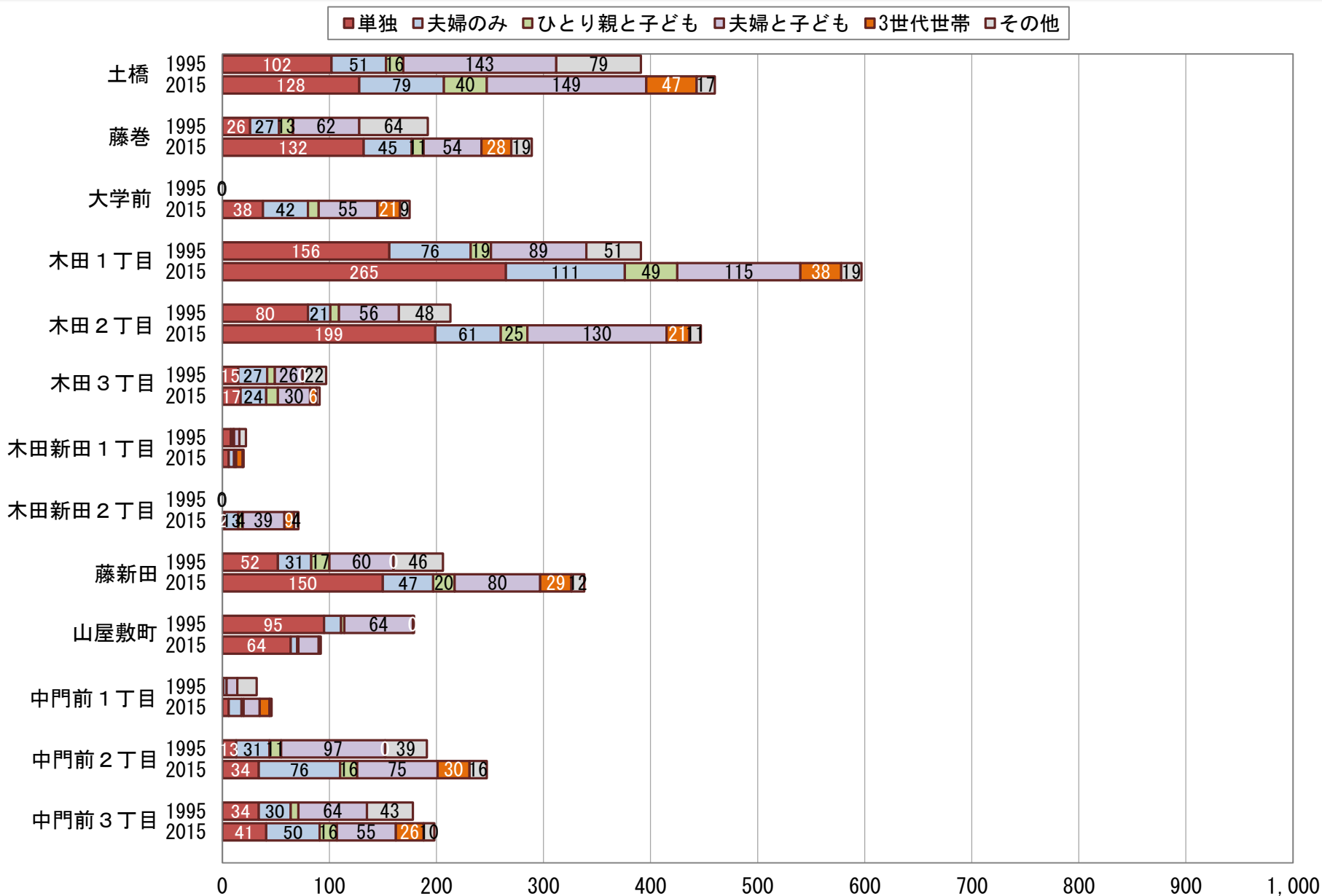
※一般世帯数のみ（施設等の世帯は含まない）。

1985年、1995年の「3世代世帯」は「その他」に含まれる。



単身世帯の増加と3世代世帯の減少が見られるものの、上越市全体の動きに比べて緩やか。

## 春日区住所別の世帯構成① (1995 - 2015)

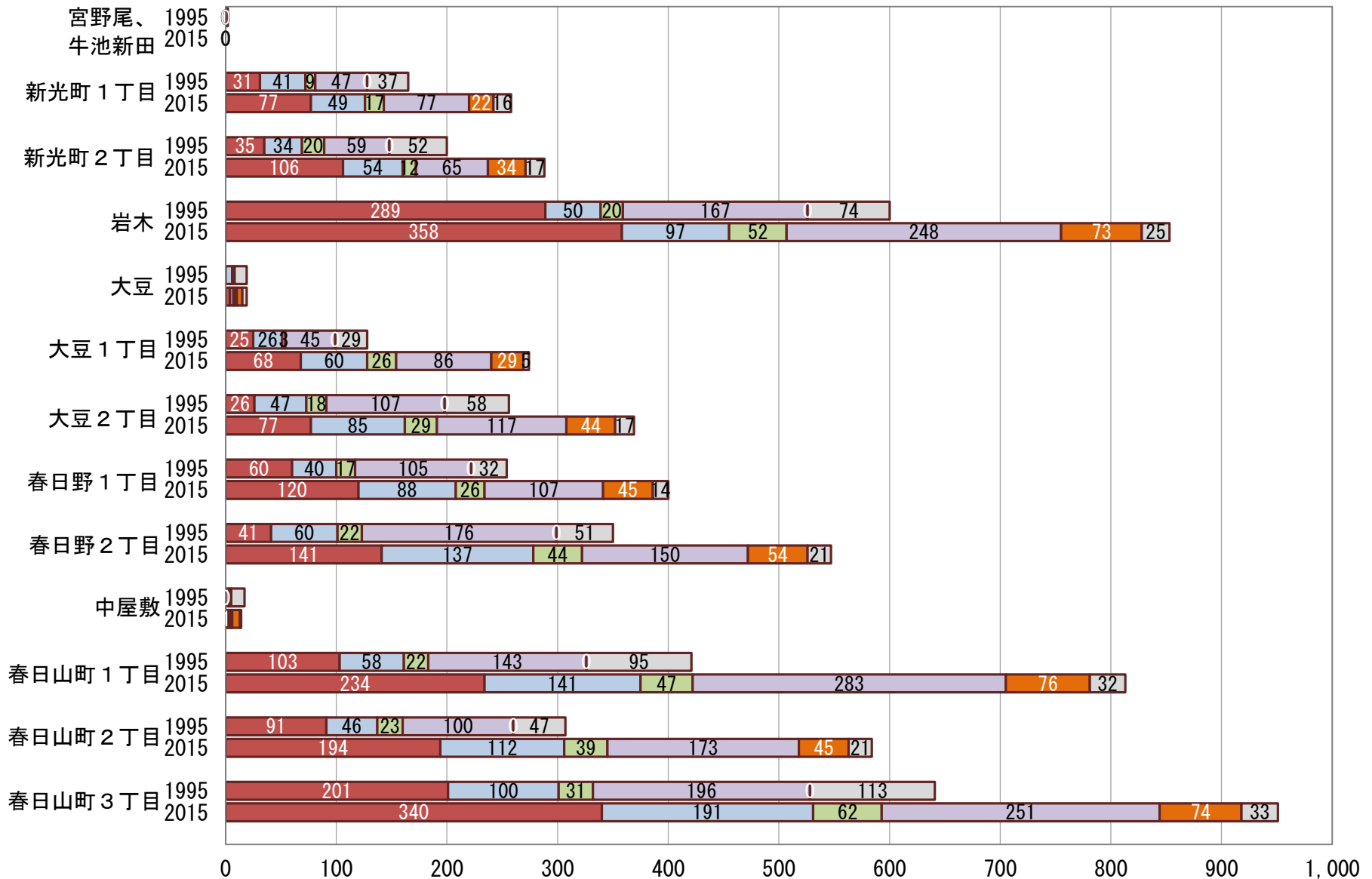


※ 施設等の世帯は除く。1995年の3世代世帯は「その他」に含まれる



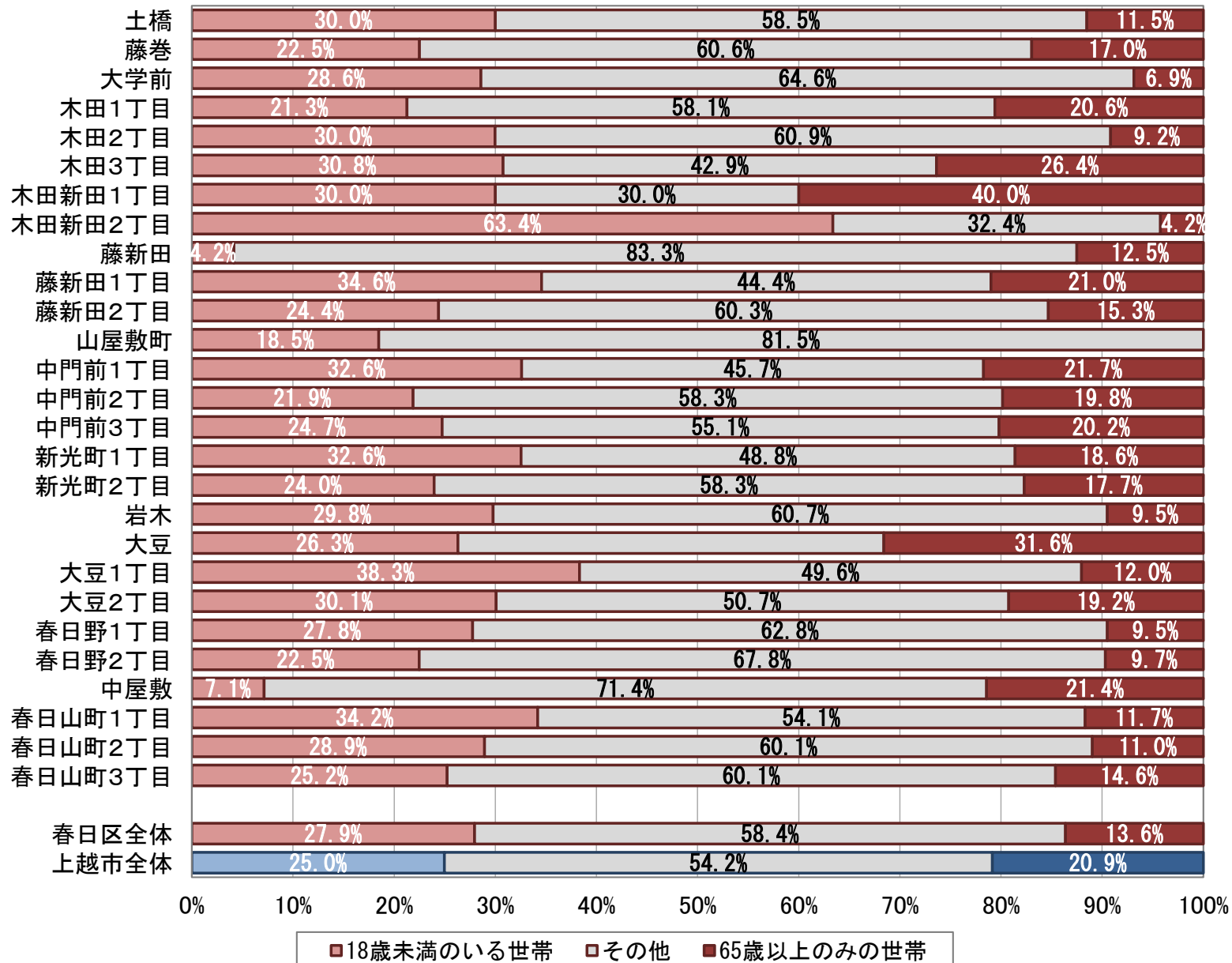
## 春日区住所別の世帯構成① (1995 - 2015)

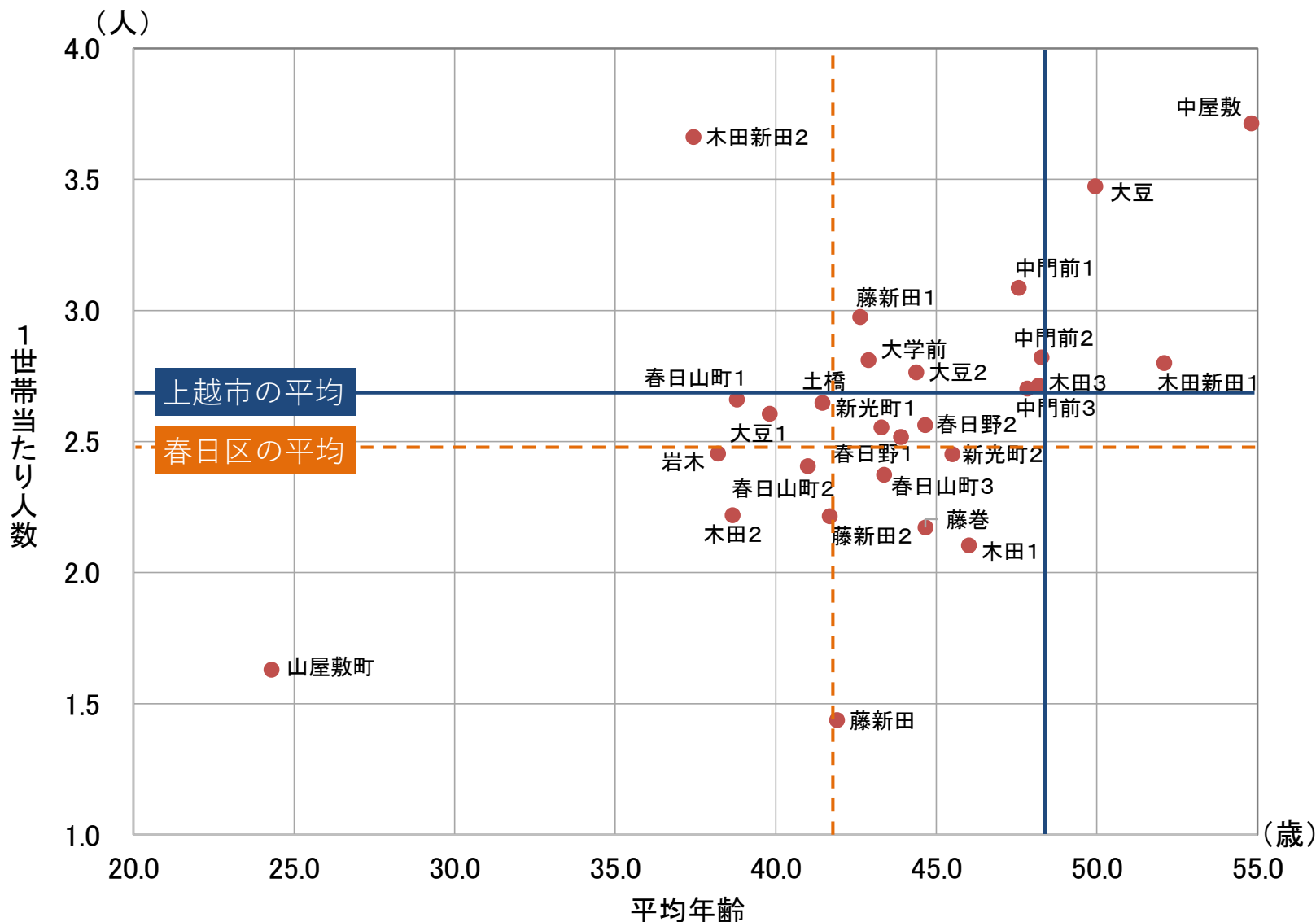
■ 単独 ■ 夫婦のみ ■ ひとり親と子ども ■ 夫婦と子ども ■ 3世代世帯 ■ その他



※ 施設等の世帯は除く。1995年の3世代世帯は「その他」に含まれる

## 春日区住所別の世帯構成② (2015)





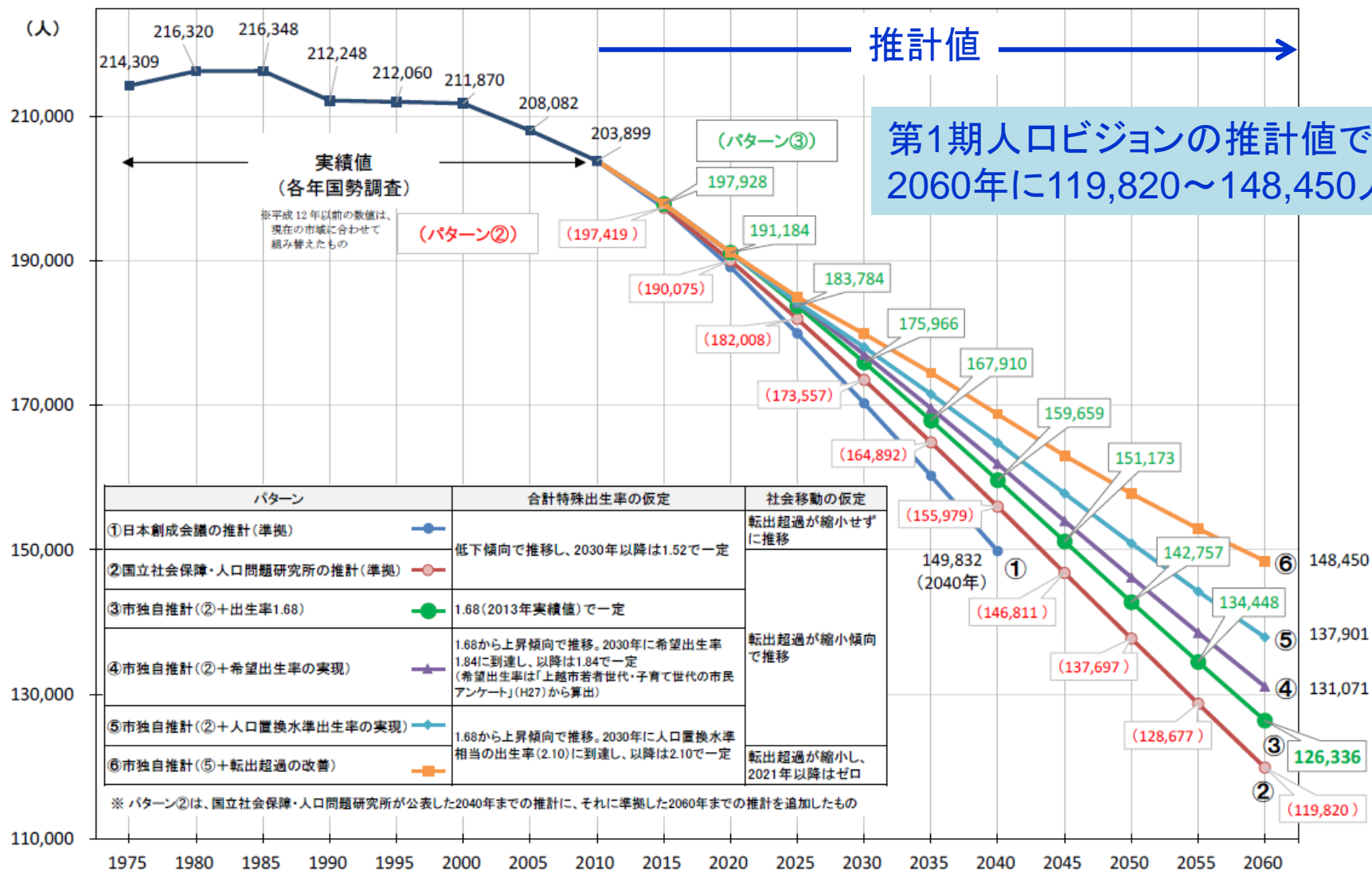
☞ 住所地によって傾向は異なるが、市の平均よりも年齢層が低く、同居人数はやや少ない住所地が中心。

## 4 人口の将来予測

---



# 上越市の将来推計人口 (1960 - 2060 推計)

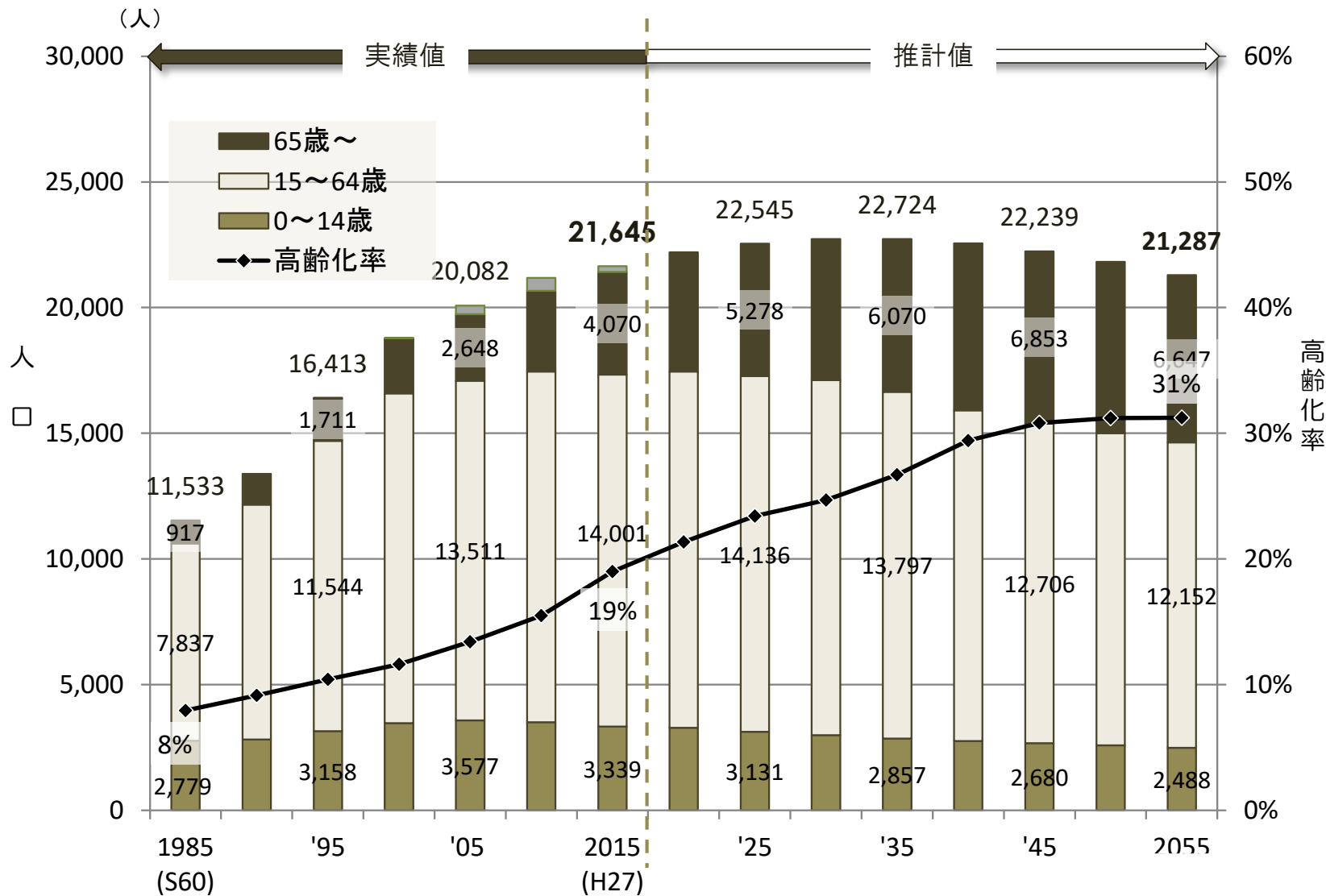


人口減少を覆すことは困難だが、  
 50~100年後の人口は今後の動向によって大きく変わる。

出所)上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(2015年7月)

	これまでの動向 (2020概算値)	今後の予測 (2050概算値)
出生	<p>約1,200人 過去30年間で5割近く減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年女性人口の減少が主要因</li> <li>・ 未婚率、独身者割合の上昇も影響</li> <li>・ 晩婚化の影響も若干あり、ただし既婚世帯の出生傾向に大きな変化はないと推察</li> </ul>	<p>約700人 (このままのペースで進めば)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未婚率、出生率が横ばいとしても若年女性人口の減少が効く</li> <li>・ 仮に女性人口の転出超過が解消すれば1,000人以上で一時的に安定</li> </ul>
死亡	<p>約2,600人 過去30年間で4割以上増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者数の伸びが主要因</li> <li>・ 平均寿命は微増 → 伸びを緩和</li> </ul>	<p>2040年頃に約2,800人(ピーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平均寿命+3歳を想定</li> <li>・ 平均寿命横ばいなら約3,000人</li> </ul>
転入と転出の差	<p>▲ 約500～800人 (※ 過去10年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バブル崩壊時を除いて大都市への転出超過が継続</li> <li>・ 近年は若年女性が大幅な転出超過 出生数にも影響</li> </ul>	<p>シナリオ次第</p> <p>※ 今後数年間は、転出超過が緩和される見込み(あくまでも18歳人口の減少によるもの)</p>
人口	<p>人口19万人弱 過去30年間で11%減少</p>	<p>人口13万人強 今後30年間で約3割減少 (このままのペースで進めば)</p> <p>要因① 少子化の進行 ② 高齢化の進行(死亡数の増) ③ 転出超過の継続</p>

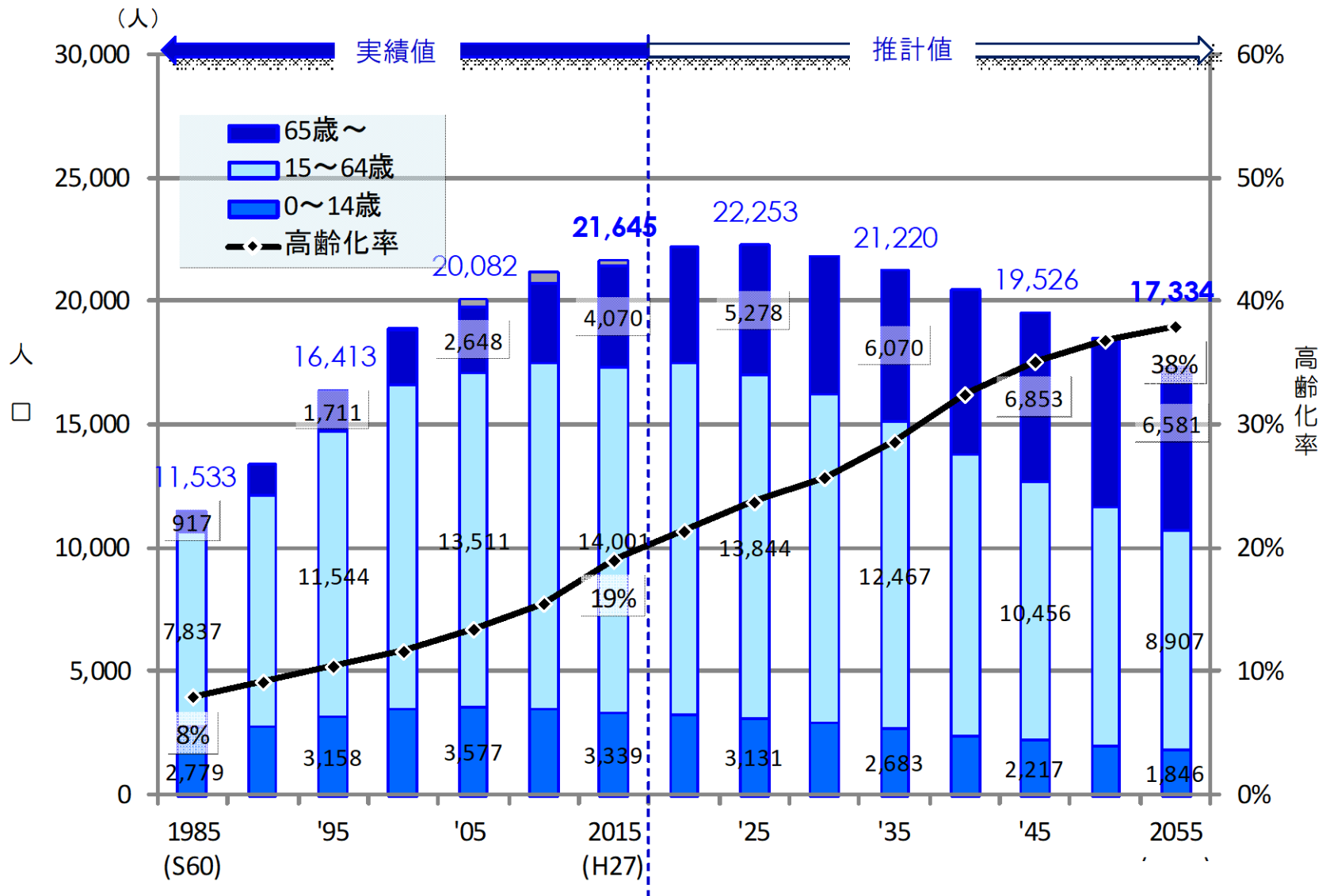
# 春日区の将来推計人口① (このままいくと)



仮に最近の傾向が続けば、人口減少の動きはゆるやかに到来。



# 春日区の将来推計人口② (宅地造成の動きが弱まれば)



👉 人口減少の到来が早まる懸念



本日のまとめとして

---

## 上越市全体

- ➡ かつて、総人口は(区ごとに違いはあるが全体として)横ばい傾向にあった。
- ➡ 転入よりも転出の数が多いことに加え、出生数が死亡数を下回るようになった。
- ➡ その結果、人口減少が進展。特に、子どもの数が減少。
- ➡ この要因としては、若者の転出や未婚化、経済情勢などの影響が考えられる。
- ➡ そして、上越市全体の世帯数は、人口減少の中にあっても増加傾向。  
特に、単身世帯の増加傾向が強い。一方、三世帯世帯は減少している。

## 春日区

- ☑ 総人口は、増加を続けている(宅地造成などを背景に)。
- ☑ ただし、町内(住所地)ごとに状況が異なる(人口、人口増減、年齢構成、世帯構成)
- ☑ 人口流入の多くは、旧13町村や近隣市町村からの転居と推察される。
- ☑ 宅地造成などの動きが弱まり、人口減少の到来が懸念される。

## 高齢化の急速な進展

同時期に同世代の住民が入った地区では、それに伴う心配あり。

## 人口流入の傾向変化

これまでは市内から流入していたが、その人口自体が減少傾向。  
今後は、上越市外から見た求心力(雇用の場や地域の魅力など)が必要に。

## 空き家問題

人口減少が進む中で、いずれ市全体の世帯数は減少に転ずる。  
にもかかわらず、新築住宅やアパートが急増していけば、空き家の増加スピードが増す可能性も。

“体力”のあるうちに将来に向けた地域づくりを

## 審議内容報告シート

## 【観光分科会】

(令和3年11月26日現在)

テーマ	春日山城跡の観光振興策について		メンバー	吉田実（リーダー）、渡部 忠行（副リーダー）、石田 秀雄、岡本 重孝、齊藤 洋一	
審議の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 国指定の史跡であり、日本百名城にも数えられているが、観光地として十分に活用されていない。</li> <li>➤ 保存や整備について市は消極的だと感じる（春日山城跡保存整備促進協議会に頼り過ぎている）。</li> </ul>		審議の方向 (目標)	目標① … 観光地としての魅力向上 目標② … 市民を巻き込んだ環境整美	
審議の 進め方	( 対応策の決定に向けて取り組むこと )		( 目標：令和4年2月末時点の状況 )		( 現在の実施状況等 )
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政の春日山観光への取組の現状について説明を受けたい。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春日山城跡保存整備促進協議会から、これまでの経緯の説明を受けたい。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光コンベンション協会からの説明を受けたい。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春日山観光などの資料で勉強する。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春日山を視察する。(令和4年春)</li> </ul>				
対応策	( <input type="checkbox"/> 団体連携 <input type="checkbox"/> 元気事業 <input type="checkbox"/> 採択方針 <input type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> その他 )				

\* 網掛け は前回から変更があったもの。

テーマ	安全・安心に暮らせる春日区とする方策について		メンバー	阿部 一博 (リーダー)、本多 俊雄 (副リーダー)、市川 優、太田 一巳、白濱 昭博、松澤 優作、渡邊 康子	
審議の背景	> 災害時の避難支援体制や避難所の状況などについて、理解が進んでおらず、適切な避難行動が行われるか不安がある。 > 積雪によって歩道が使用できなくなることがあり、児童・生徒や高齢者等の安全確保に支障がある。町内のボランティアに頼っている実態がある。		審議の方向 (目標)	目標① … 地域の防災体制の充実 (防災士の増員) 目標② … ” (避難所の環境整備) 目標③ … 積雪時の歩道の確保等	
審議の進め方	( 対応策の決定に向けて取り組むこと )		( 目標：令和4年2月末時点の状況 )		
	目標① 地域の防災体制の充実 (防災士の増員) ・実態把握 … 春日区の防災士の町内内訳 市の防災士養成講座の募集体制や開催頻度 各町内の自主防災組織の状況(町内へアンケート)			( 現在の実施状況等 )	
	目標② 地域の防災体制の充実 (避難所の環境整備) ・実態把握 … 現地確認 各避難所の最大収容人数の把握 避難経路の確認				
	目標③ 積雪時の歩道の確保等 ・実態把握 … 現地確認 歩道除雪体制の把握				
対応策	( <input checked="" type="checkbox"/> 団体連携 <input type="checkbox"/> 元気事業 <input type="checkbox"/> 採択方針 <input checked="" type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> その他 )				
	目標① 地域の防災体制の充実 (防災士の増員) → 町内会への呼びかけ 目標② ” (避難所の環境整備) → 市へ意見書の提出 目標③ 積雪時の歩道の確保等 → 市へ意見書の提出				

\* 網掛けは前回から変更があったもの。

審議内容報告シート

【福祉分科会】

(令和3年11月26日現在)

<p>テーマ</p>	<p>あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について</p>		<p>メンバー</p>	<p>吉田 義昭 (リーダー)、谷 健一 (副リーダー)、田中 裕子 (書記)、 藤田 晴子、丸山 佳子、山田 孝、鷺澤 和省</p>	
<p>審議の背景</p>	<p>(各委員より意見聴取)                  ▶ 少子高齢化で人口減少の中、春日地区は人口増となっているが、他地域(中山間地域等)からの人口移動で増加しているため、アパートやマンションの入居者が多く、地域の伝統的行事等に関心がない世帯が多くなっている。以下のように、まさに地域との関わりの弱体化が挙げられた。                  ・ 特に若者の関心が少ない(大豆)                  ・ 町内行事に参加する若者が少ない(岩木) など</p>	<p>審議の方向 (目標)</p>	<p>(各委員より意見聴取)                  ▶ 地域の各団体等(町内会、子供会、PTA、老人会等)との意見交流会を行い、左記の審議の背景の解消に結びつく会合も一つの方法ではないか。                  ▶ 提案として、自らの地域を知る手段として、町内の住宅地図を作成・発行している町内があり、参考にしているかどうかの意見があった。                  (地図の特徴) … 班の境界線、班番号(班名)、消火栓の位置、子ども110番の家、ごみ集積所、用水                  転落注意箇所、交通事故の注意箇所、物陰など防犯上の注意箇所などを表示。5年ごとに更新、配布。                  ▶ 町内行事等が回覧板や町内報で住民に周知されていると思うが、そのPR方法等のアイデアを公募するなど、関心を持っていただくことを検討したい。                   目標① …                  目標② …                  目標③ …</p>		
<p>審議の進め方</p>	<p>(対応策の決定に向けて取り組むこと)</p>	<p>(目標：令和4年2月末時点の状況)</p>	<p>(現在の実施状況等)</p>		
<p>対応策</p>	<p>( <input type="checkbox"/> 団体連携 <input type="checkbox"/> 元気事業 <input type="checkbox"/> 採択方針 <input type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> その他 )</p>				

\* 網掛けは前回から変更があったもの。